

「Microsoft」、「MS-DOS」、「Windows」、「Windows NT」、「Microsoft Network」、「Windows Server」は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標および登録商標です。
「Novell」、「NetWare」、「IntranetWare」、「NDS」は、
米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
「Adobe」、「Acrobat」、「PostScript」、「Adobe PostScript 3」、「PostScript ロゴ」は、
Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
「Apple」、「AppleTalk」、「LocalTalk」、「Macintosh」、「MacOS」、「TrueType」は、
Apple Computer, Inc. の登録商標です。
「HP」、「HPGL」、「HPGL/2」、「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
[XEROX] [The Document Company] [Ethernet (イーサネット)] [PDF Bridge] は登録商標です。
[DocuWorks] [CentreWare] は富士ゼロックス株式会社の商標です。
その他の製品名、会社名は、一般的に各社の登録商標または商標です。
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。

本書は、地球環境への負荷低減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品
本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。

本体のハードディスクに不具合が発生した場合、蓄積されたデータが消失することがあります。この場
合のお客様のデータの消失による直接、間接の損害につき、当社はその責任を負いかねますので、あら
かじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかね
ますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本商品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使
用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本商品および、関連消耗品を
これらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

目次

目次	1
1 お使いいただく前に	5
はじめに	6
本書の使い方	7
マニュアル体系	7
本書の構成	8
本書の表記	9
2 機械の構成	11
各部の名称と働き	12
機能の紹介	16
プリント	16
CentreWare Internet Services	18
スキャン	18
メール	19
ツールの紹介	20
電源を入れる / 切る	22
電源を入れる	22
電源を切る	22
インターフェースケーブルの接続	23
パラレルインターフェイスでの接続	23
USB インターフェイスでの接続	23
Ethernet インターフェイスでの接続	24
操作パネル	25
操作パネルの設定変更	27
内蔵フォント	30
3 パラレルポートでの設置	31
事前準備	32
設置手順	32
設置手順の概要	32
本体側の設定	32
コンピューター側の設定	33
4 USB での設置	35
事前準備	36
設置手順	36
設置手順の概要	36
本体側の設定	36
コンピューター側の設定	37

5	TCP/IP (LPD/Port9100) での設置	39
	事前準備	40
	設置手順	40
	設置手順の概要	40
	本体側の設定	40
	コンピューター側の設定	41
6	NetWare での設置	43
	事前準備	44
	設置手順	44
	設置手順の概要	44
	本体側の設定	45
	コンピューター側の設定	47
7	Microsoft Networks(SMB) での設置	49
	事前準備	50
	設置手順	50
	設置手順の概要	50
	本体側の設定	50
	コンピューター側の設定	51
8	インターネット印刷 (IPP) での設置	53
	事前準備	54
	設置手順	54
	設置手順の概要	54
	本体側の設定	54
	コンピューター側の設定	55
9	CentreWare Internet Services を使う	57
	事前準備	58
	設置手順	58
	設置手順の概要	58
	本体側の設定	58
	設置の確認	60
	CentreWare Internet Services での通信 (ポート / プロトコル) 設定項目	61
	Ethernet	62
	パラレル	63
	USB	64
	SMB	65
	NetWare	66
	TCP/IP	68
	LPD	70
	SNMP	71
	IPP	72
	Port9100	73

LDAP	74
メール	75
HTTP	78
WebDAV	79
10 メール機能の設定	81
メール機能の概要	82
事前準備	83
設置手順	84
設置手順の概要	84
ポートの起動と TCP/IP の設定	84
メール環境の設定	85
11 スキャン機能の設定	89
スキャン機能の概要	90
スキャナー（ボックス保存）の設定	91
設置手順の概要	91
ポートの起動と TCP/IP の設定	91
親展ボックスの登録	93
スキャナー（PC 保存）の設定	96
事前準備	96
設置手順の概要	96
ポートの起動と TCP/IP の設定	97
コンピューター側の設定	98
12 通信のセキュリティー機能設定	99
HTTP の通信を暗号化する場合の設定	100
設置手順の概要	100
本体側の設定	100
コンピューター側の設定	101
メールの暗号化 / デジタル署名をする場合の設定	102
設置手順の概要	102
本体側の設定	102
コンピューター側の設定	104
13 トラブル対処	105
SMB	106
トラブル対処	106
注意制限	107
NetWare	109
プリントされないとき	109
[電源を一度切ってください] と表示されているとき	111
希望どおりにプリントされないとき	112
通知されないとき	112
TCP/IP	113

トラブル対処	113
注意制限	115
CentreWare Internet Services.....	117
トラブル対処	117
スキャナー機能.....	118
注意制限	118
メール機能.....	119
トラブル対処	119
索 引	120

1 お使いいただく前に

この章では、本書の使い方について説明しています。

- はじめに.....6
- 本書の使い方.....7

はじめに

このたびは OFISTAR H7200 をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書は、本商品をネットワークで使用する場合の各種設定方法などについて記載しています。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本商品の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書をご活用ください。本書は、読んだあとも必ず保管してください。本商品をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用ください。

コピー / プリント / スキャン / ファクス機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定項目、および使用上の注意事項などについては、『ユーザーズガイド』をごらんください。プリント機能のオプション製品については、それぞれのオプション製品に同梱されているマニュアルも合わせてごらんください。

この取扱説明書のなかで△と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。また、『ユーザーズガイド』の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

本書の使い方

ここでは、本書の読み方について説明します。

マニュアル体系

本商品には、次のマニュアルを用意しています。

本体同梱マニュアル

本商品には、いくつかのマニュアルが同梱されています。これらのマニュアルを本体同梱マニュアルと呼びます。

本体同梱マニュアルでは、設定 / 操作方法などを説明しています。

本商品には、次のマニュアルが同梱されています。

■ユーザズガイド

コピー / プリント / スキャン / ファクス機能の操作方法、紙づまりの処置方法、日常の管理方法、各種設定項目、使用上の注意事項などについて説明しています。

■ネットワーク管理者ガイド <本書>

ネットワークの環境設定方法について、ネットワーク管理者向けに説明しています。

■使い方がわかる本ーおもな機能と操作方法を説明しますー

本商品で可以使用できるおもな機能の紹介と、簡単に使うための操作方法を説明しています。

■マニュアル (HTML)

プリンタードライバのインストール、プリンターの環境設定などを説明しています。同梱されている CentreWare Utilities の CD-ROM に入っています。

オプション製品マニュアル

本商品ではオプション製品を用意しています。オプション製品には、取扱説明書が同梱されているものがあります。これらの取扱説明書をオプション製品マニュアルと呼びます。オプション製品マニュアルには、製本マニュアルと電子マニュアルがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウェアのインストール手順などを説明しています。

本書の構成

本書は、次の構成になっています。

■ 1 お使いいただく前に

本書の使い方について説明しています。

■ 2 機械の構成

各部の名称、電源の入 / 切、タッチパネルディスプレイの使い方など、本商品の基本的な操作について説明しています。

■ 3 パラレルポートでの設置

本商品をパラレルインターフェイスで使用する場合について説明しています。

■ 4 USB での設置

本商品を USB で使用する場合について説明しています。

■ 5 TCP/IP (LPD/Port9100) での設置

本商品を TCP/IP (LPD/Port9100) で使用する場合について説明しています。

■ 6 NetWare での設置

本商品を NetWare で使用する場合について説明しています。

■ 7 Microsoft Networks (SMB) での設置

本商品を Microsoft Networks (SMB) で使用する場合について説明しています。

■ 8 インターネット印刷 (IPP) での設置

本商品をインターネット印刷 (IPP) で使用する場合について説明しています。

■ 9 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services を利用する方法について説明しています。

■ 10 メール機能の設定

本商品でメール機能を使ったサービスを利用するための設定方法について説明しています。

■ 11 スキャン機能の設定

本商品でスキャンを使ったサービスを利用するための設定方法について説明しています。

■ 12 通信のセキュリティー機能設定

本商品で通信のセキュリティー機能を使ったサービスを利用するための設定方法について説明しています。

■ 13 トラブル対処

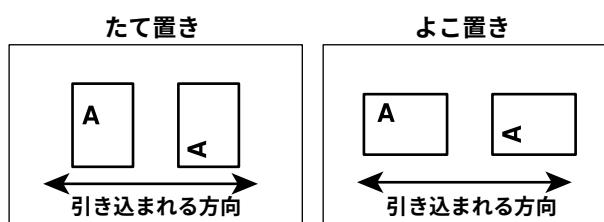
本商品になんらかのトラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

本書の表記

- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
注記 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
補足 補足事項を記述しています。
- 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」	: 参照先は本書内です。
『 』	: 参照先は本書内ではなく、ほかの説明書です。
「 」	: CD-ROM、機能、タッチパネルディスプレイのメッセージなどの名称や入力文字などを表します。
[]	: フォルダ、ファイル、アプリケーション、タッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称、コンピューターの画面に表示されるメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
〈 〉 ボタン	: 操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
〈 〉 キー	: コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
- 本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。

☐、☐、たて置き	: 長い側が引き込まれる向きを表しています。
☐、☐、よこ置き	: 短い側が引き込まれる向きを表しています。



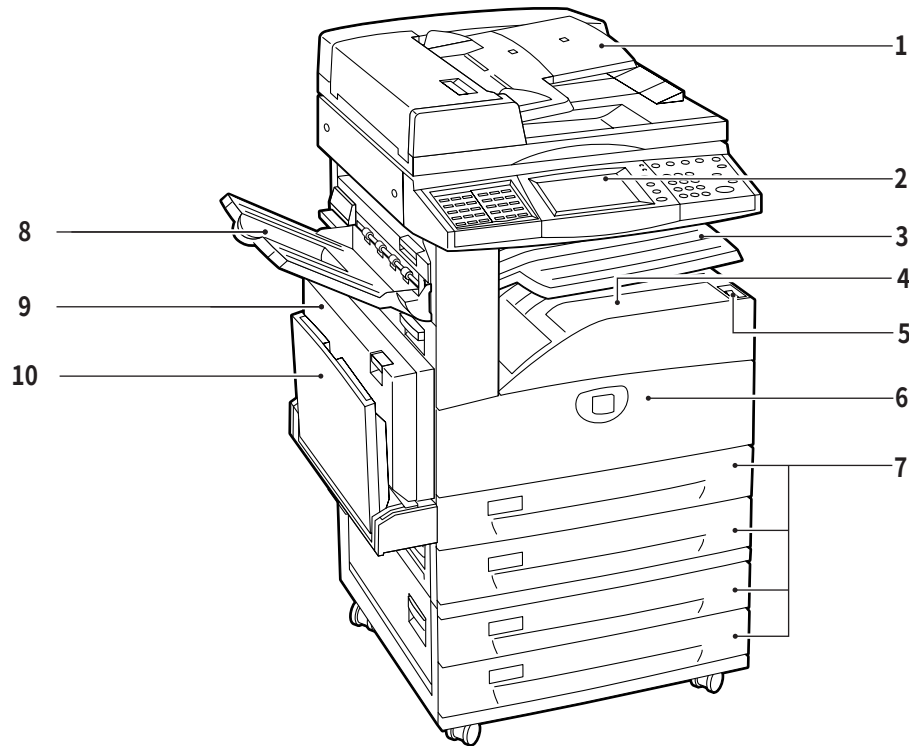
2 機械の構成

この章では、各部の名称、機能やツールの紹介、電源の入 / 切、ケーブルの接続方法、タッチパネルディスプレイの使い方などについて説明しています。

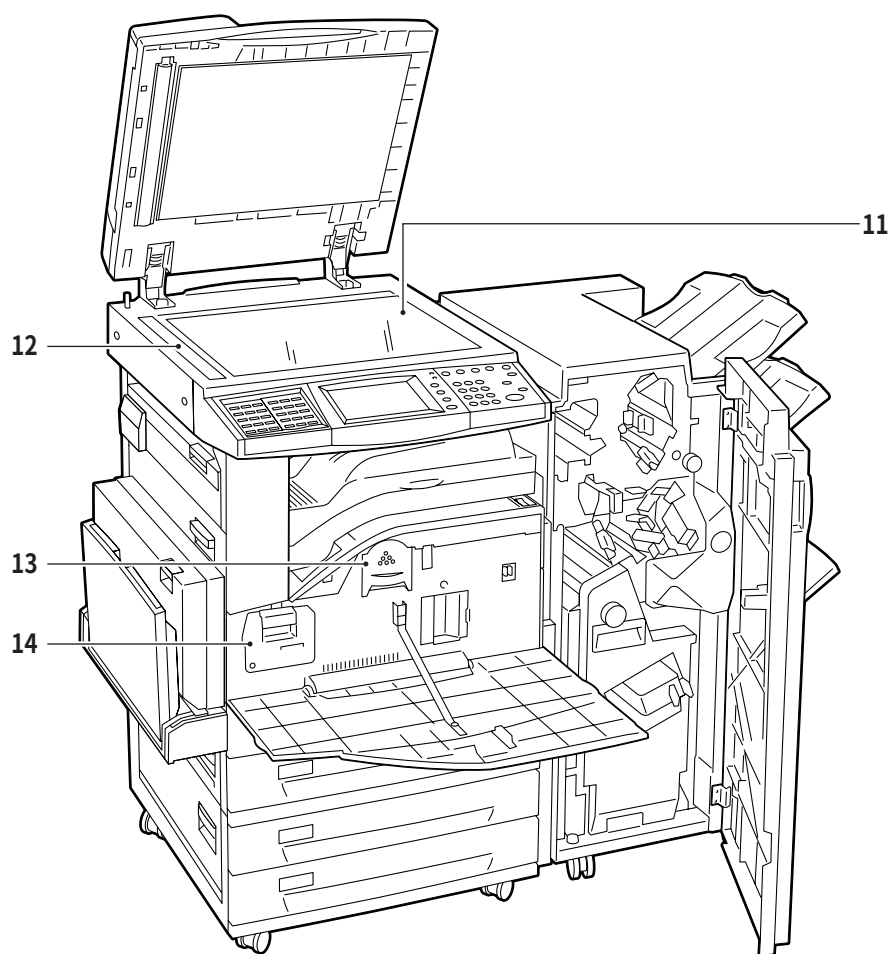
- 各部の名称と働き 12
- 機能の紹介 16
- ツールの紹介 20
- 電源を入れる / 切る 22
- インターフェイスクーブルの接続 23
- 操作パネル 25
- 内蔵フォント 30

各部の名称と働き

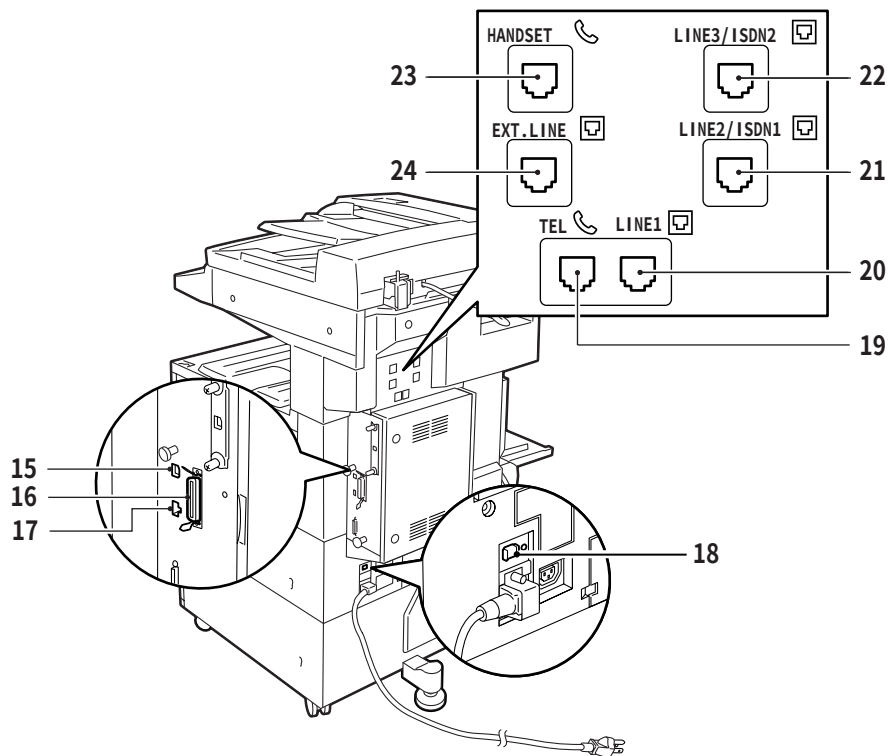
本商品の各部の名称と働きについて説明します。



番号	名 称	働 き
1	自動両面原稿送り装置	複数枚の原稿を自動的に送り込む装置です。 補足 ・ 本文中では、「原稿送り装置」と表します。
2	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。 「操作パネル」(P.25)を参照してください。
3	インナー排出トレイ (オプション)	コピーやプリントされたものが印字面を下にして排出されます。
4	センタートレイ	コピーやプリントされたものが印字面を下にして排出されます。 補足 ・ インナー排出トレイを取り付けているときは、「センタートレイ (下段)」と表しますが、インナー排出トレイを取り付けていないときは、「センタートレイ」と表します。
5	電源スイッチ	機械の電源を入 / 切するスイッチです。
6	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
7	用紙トレイ 1 ～ 3、4 (オプション)	用紙をセットします。
8	サイドトレイ (オプション)	コピーやプリントされたものが印字面を上にして排出されます。
9	自動両面ユニット (オプション)	自動で用紙の両面にコピーやプリントします。
10	用紙トレイ 5 (手差し)	用紙トレイ 1 ～ 4、6 にセットできない用紙 (厚紙などの特殊用紙) をコピー、またはプリントするときに使用します。



番号	名 称	働 き
11	原稿ガラス	原稿をセットします。
12	原稿読み取りガラス	原稿送り装置にセットした原稿を読み取ります。
13	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
14	ドラムカートリッジ	トナーを転写するための感光体です。



番号	名 称	働 き
15	USB1.1 インターフェイスコネクタ	USB ケーブルを接続します。
16	パラレルインターフェイスコネクタ	セントロニクス準拠インターフェイスケーブルを接続し、コンピュータと接続します。
17	10BASE-T/100BASE-TX コネクタ	ネットワークケーブルを接続します。
18	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断するスイッチです。

■電話回線接続部

番号	本商品のカバーに刻印されている名称	タッチパネルディスプレイに表示される名称	働 き
19	TEL	-	オプションの受話器（ハンドセット）を使用する場合は、ここに接続します。お手持ちの電話を接続することもできます。 注記 ・ 増設 G3 キット（オプション）、および G4 ユニット（オプション）装着時は、ここには接続しないでください。 ・ ほかのファクス機は、接続しないでください。
20	LINE 1	回線 1	一般回線（内線も可）を接続します。
21	LINE 2/ISDN 1（オプション）	回線 2、3	一般回線（内線も可）、または ISDN 回線を接続します。
22	LINE 3/ISDN 2（オプション）	回線 4、5	一般回線（内線も可）、または ISDN 回線を接続します。
23	HANDSET（オプション）	-	G3 増設ポート（オプション）、および G4 ユニット（オプション）装着時に、オプションの受話器（ハンドセット）を接続します。 注記 ・ お手持ちの電話は接続できません。
24	EXT.LINE（オプション）	回線 0	LINE 1（回線 1）に接続した回線と切り替えて使用する回線を接続します。

注記 ・ ISDN 回線は、屋内の DSU を介してデジタル加入者線に接続してください。

- 補足** ・ ファクス機能は、お使いの機種によっては利用できません。利用するには G4 ユニットが必要になります。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。
- ・ HANDSET、LINE 2（回線 2、3）、LINE 3（回線 4、5）はオプションです。
 - ・ ISDN 回線を利用するためには、オプションの G4 ユニットが必要です。
 - ・ G4 ユニートを 1 個装着した場合は、ISDN 1 と ISDN 2 のどちらかを使用できます。2 個装着した場合は、両方を使用できます。

機能の紹介

ネットワーク環境では次の機能が使えます。

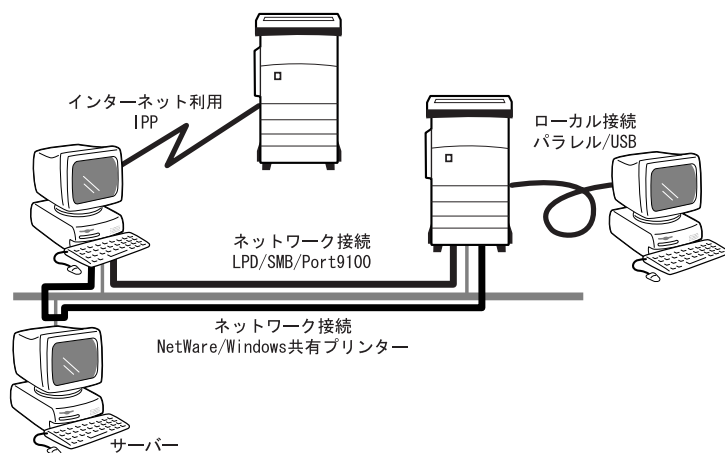
- プリント
- CentreWare Internet Services
- スキャン
- メール

プリント

本商品を使用できる環境について説明します。

本商品は、直接コンピューターと接続するとローカルプリンターとして、ネットワークを経由するとネットワークプリンターとして使用できます。

使用するポートは、操作パネルで「起動」に設定してください。



ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、次の接続形態があります。

- 平行接続：本商品とコンピューターを平行インターフェイスケーブルで接続して使用します。
- USB 接続：本商品とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。

ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

- LPD：TCP/IP プロトコルを使用し、本商品と直接通信できる場合に使用します。
- NetWare：NetWare サーバーを使用し、本商品を共有管理する場合に使用します。
- SMB：Microsoft Networks を使用してプリントする場合に使用します。
- IPP：インターネットを経由してプリントする場合に使用します。
- Port9100：ポートとして Port9100 を利用している場合に使用します。

各 OS（オペレーティングシステム）で利用できる環境

接続形態		ローカル	ネットワーク						
ポート名		パラレル	LPD	NetWare		SMB		IPP	Port 9100
プロトコル		-	TCP/IP	TCP/IP	IPX/SPX	Net BEUI	TCP/IP	TCP/IP	TCP/IP
OS	Windows 95	○	○ ^{*1}	○	○	○	○		○ ^{*1}
	Windows 98 ^{*2}	○	○ ^{*1}	○	○	○	○		○ ^{*1}
	Windows Me	○	○ ^{*1}	○	○	○	○	○	○ ^{*1}
	Windows NT 4.0	○	○	○	○	○	○		
	Windows 2000	○	○	○	○	○	○	○	○
	Windows XP	○	○	○	○		○	○	○
	Windows Server 2003	○	○	○	○		○	○	○

*1：Windows 95/98/Me の場合は、弊社の TCP/IP Direct Print Utility を使用します。

*2：Windows 98SE 以降だけ対応しています。

ネットワーク環境の詳細については、CentreWare Utilities の CD-ROM 内のマニュアルを参照してください。

CentreWare Internet Services

「CentreWare Internet Services」は、TCP/IP 環境が利用できる場合に、Web ブラウザーを介して、本商品の状態やジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

プリンターとしての設定では、タッチパネルディスプレイで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

本体側でインターネットサービス（HTTP）ポートを起動したあと、CentreWare Internet Services の各タブでできる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	主な機能
サービス	・ プリント指示 コンピューターに保存されているファイルを指定してプリントできます。
ジョブ	・ ジョブ一覧およびジョブ履歴一覧の表示、ジョブの削除
状態	・ 装置の状態の表示 用紙トレイ・排出トレイの状態、およびトナーなど消耗品の状態の表示 ・ Copyright 画面へのリンク
プロパティ	・ 次の項目の表示および設定 本体情報および日付・時刻の設定、メモリーやプリント言語など本体構成の表示、カウンターの表示、用紙トレイの設定、用紙の設定、節電モードの設定、宛先表の取り出しと登録、親展ボックスの編集、ジョブフローの編集、セキュリティの設定、証明書管理、メール通知の設定、認証 / 集計管理の設定、Internet Services の設定、ポート起動の設定 ・ 各種ポートの設定 ・ 各種プロトコルの設定 ・ エミュレーションの設定 ・ メモリーの設定
メンテナンス	・ エラー履歴情報の表示
サポート	・ サポート情報の表示

スキャン

スキャンには次の種類があります。

■スキャナー（ボックス保存）

原稿を本商品でスキャンし、親展ボックスに格納できます。

TCP/IP が利用できるネットワーク環境に本商品を接続すると、親展ボックスに格納されたスキャン文書を、ネットワークに接続しているコンピューターから取り出すことができます。

■スキャナー（PC 保存）

FTP プロトコルや SMB プロトコルが利用できるネットワーク環境に本商品を接続すると、ネットワーク上のコンピューターへスキャンデータを保存できます。

メール

メールには次の種類があります。

■メール通知

本商品で「IP アドレス拒否の通知」または「メールの受信ドメイン拒否の通知」を設定した場合、拒否の内容を、指定された宛先へメールで通知できます。

■ジョブの終了通知

コンピューターから本商品にプリントしたときに、そのプリントが終了したことをメールで通知できます。

ツールの紹介

本商品には次のツールがあります。ツールによって設定できる項目が異なります。

■操作パネル

本体上部の中央にあるパネルです。操作に必要なボタン、ランプ、タッチパネルディスプレイがあります。

タッチパネルディスプレイは操作パネルの中央にあり、操作に必要なメッセージや機能ボタンが表示されます。ディスプレイに表示されるボタンやタブに、直接指で触れることによって、機能を設定したり、画面を指示したりできます。

■CentreWare Internet Services

TCP/IP 環境が利用できる場合に、Web ブラウザーを介して、本商品のプリンターとしての状態やプリントデータ状態の表示、設定の変更、親展ボックスの操作をするためのサービスです。

プリンターとしての設定では、タッチパネルディスプレイで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

■CentreWare Utilities

CentreWare Utilities CD-ROM に同梱されています。

お使いの機械やさまざまなアプリケーションを、1つのウィンドウで操作できるツールです。各種ツールの起動、プリント時のプリンタードライバー設定の手間を軽減できます。

マウスを使って、文書ファイルをドラッグ&ドロップするだけで、プリントやファクス送信ができます。また、機械本体まで行かなくても、親展ボックスの登録や、スキャン設定ができます。

そのほかに、コンピューターからプリント指示した場合の本体の状態（用紙切れ、トナー切れ、紙づまり、プリント開始や終了など）を表示します。また、プリントデータの処理状況の確認や、処理の一時停止、再開、中止などもできます。

■CentreWare EasyAdmin

プリンター、ファクス、スキャナーの管理作業を軽減するツールです。複数台の複数の項目を、自分の席のコンピューターから一括で設定できます。

補足 ・ CentreWare EasyAdmin をご使用になる場合は、別途購入が必要です。

ツールと設定できる項目の関係は次のとおりです。なお、本マニュアルでは、本体の操作パネルからの設定を中心に説明しています。

項目	操作パネル	CentreWare Internet Services	CentreWare Utilities	CentreWare EasyAdmin
ポートの起動	○	○	△ (LPD のみ)	△
IP アドレスの設定	○	○	○	○ (変更のみ)
メール環境の設定	△	○	×	×
親展ボックスの登録	○	○	○	○
アドレス帳	○	△	×	○
プリンターの状態の確認	△	○	○	×

項目	操作パネル	CentreWare Internet Services	CentreWare Utilities	CentreWare EasyAdmin
プリントデータ(ジョブ)の状態の確認	×	○	○	×
認証の運用設定	○	△	×	○
個人の認証情報の設定	○	○	×	○

○：設定可能 △：一部可能 ×：設定不可

電源を入れる / 切る

機械を使用するときには、電源を入れます。電源スイッチを入れてから約 35 秒ほどでコピー、またはプリントできる状態になります。機械の構成によっては、時間がかかる場合があります。なお、長時間使用しない場合や、1 日の終わりには電源を切ってください。また、しばらく使用しないときには、節電機能を利用すると、機械の消費電力量が下がり電力を節約できます。

注記 ・ 電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

節電機能については、『ユーザズガイド』の「2 機械の構成」「節電機能について」を参照してください。

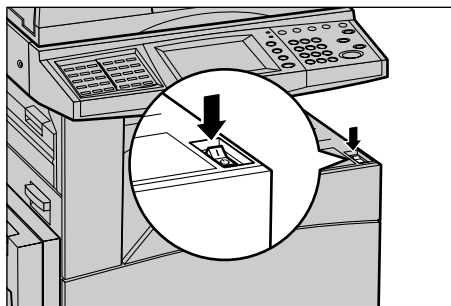
補足 ・ 電源を切った場合、本商品のすべての機能は停止します。ファクス受信などで、終日利用する場合は、電源を切らないでください。

電源を入れる

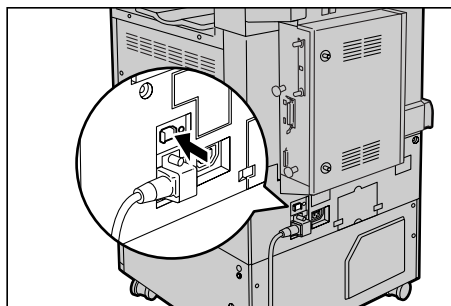
電源を入れる手順について説明します。

- 1 電源スイッチ [|] の側を押して電源を入れます。

補足 ・ 「お待ちください ...」の表示になっているときは、本体のウォームアップ中です。この間は、本商品を使用できません。



補足 ・ 電源が入らない場合は、リセットボタンがリセット状態（ボタンが押し込まれている）になっていることを確認します。



電源を切る

電源を切る手順について説明します。

注記 ・ 電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

- 1 コピー、またはプリントが完全に終了していることを確認します。また、〈送受信〉ランプ、〈蓄積文書あり〉ランプが消えていることを確認してください。

注記 ・ 次の状態の場合は、電源を切らないでください。

- ・ データの受信が行われている
- ・ プリント処理が行われている
- ・ コピーが行われている
- ・ スキャンが行われている
- ・ ファクスが行われている

- 2 電源スイッチの [O] 側を押します。

注記 ・ 電源スイッチを切ったあとも、しばらくの間は本商品内部で電源オフ処理をしています。そのため、電源スイッチを切った直後に電源プラグをコンセントから抜かないでください。

補足 ・ 電源を切ったあとに、再度電源を入れる場合は、画面が消えてから 20 秒後に入れてください。

インターフェイスケーブルの接続

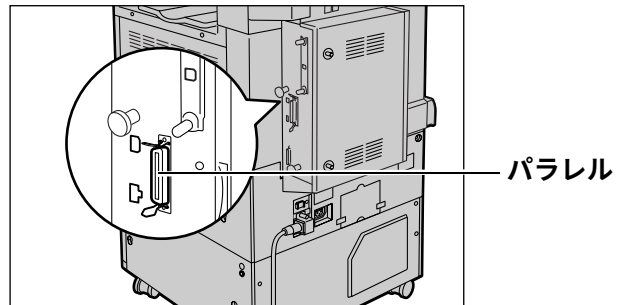
コンピュータと本商品を直接接続する場合は、パラレルインターフェイス、またはUSB インターフェイスを使います。ネットワークに接続する場合は、Ethernet インターフェイスを使います。

パラレルインターフェイスでの接続

パラレルインターフェイスを使用するときの設置手順について説明します。

補足 ・パラレルインターフェイスを使ったコンピュータとの接続には、弊社が提供するオプション製品のパラレルインターフェイスケーブルが必要です。オプション製品については、『ユーザーズガイド』の「17 付録」「オプション製品一覧」を参照してください。

- 1 本商品の電源が切れていることを確認します。
- 2 インターフェイスケーブルのコネクターを、本商品のパラレルインターフェイスコネクターに差し込み、両側の金具で固定します。
- 3 コンピューターに、インターフェイスケーブルのもう一方のコネクターを接続します。
- 4 本商品の電源スイッチを入れます。
- 5 コンピューターを再起動します。



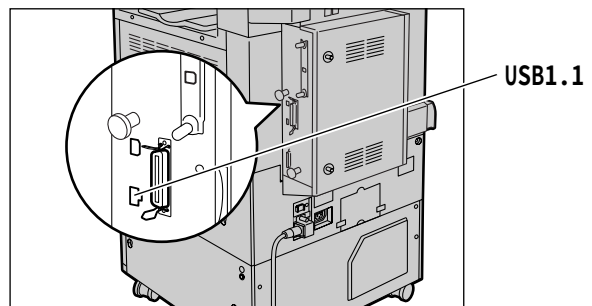
設定項目の詳細は、「パラレルポートでの設置」(P.31)を参照してください。

USB インターフェイスでの接続

USB インターフェイスは、USB1.1 に対応しています。

USB インターフェイスを使用するときの設置手順について説明します。

- 1 本商品の電源が切れていることを確認します。
- 2 USB インターフェイスケーブルを、本体側面のUSBインターフェイスコネクターに接続します。
- 3 コンピューターに、USBインターフェイスケーブルのもう一方のコネクターを接続します。
- 4 本商品の電源スイッチを入れます。
- 5 コンピューターを再起動します。



設定項目の詳細は、「USB での設置」(P.35)を参照してください。

Ethernet インターフェイスでの接続

Ethernet インターフェイスは、次の 2 種類に対応しています。

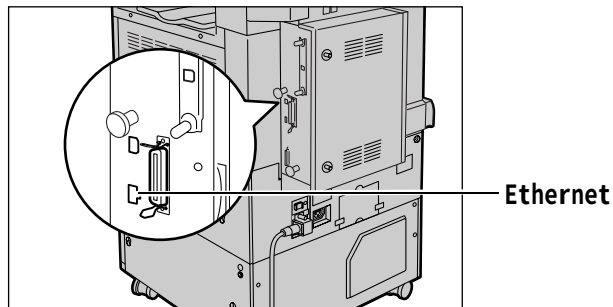
- 100BASE-TX
- 10BASE-T

Ethernet インターフェイスを使用するときの設置手順について説明します。

1 本商品の電源が切れていることを確認します。

2 Ethernet インターフェイスのコンネクターに、ネットワークケーブルを接続します。

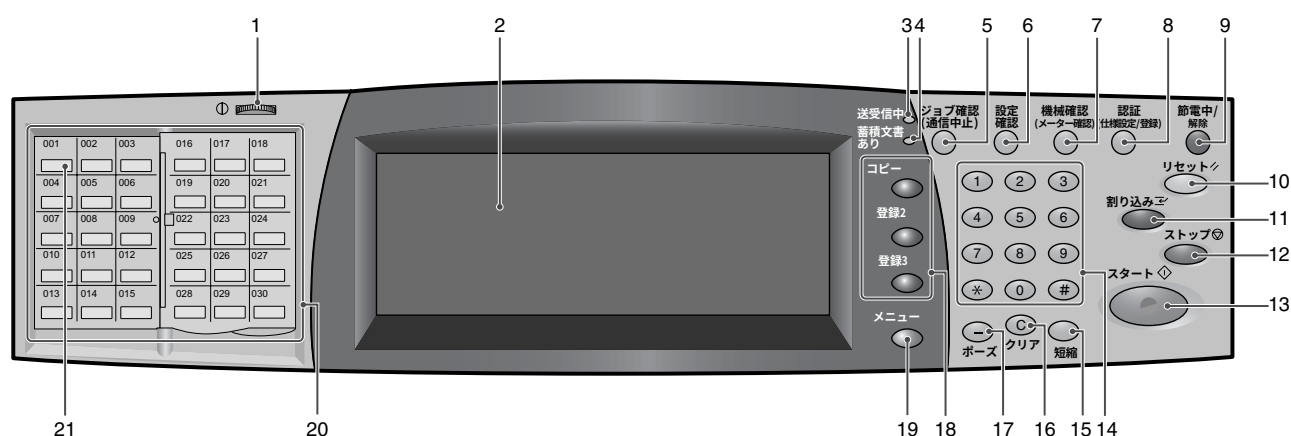
補足 ・ ネットワークケーブルは、お使いのネットワークの接続形態に合ったケーブルをご用意ください。また、ネットワークケーブルを交換する場合は、弊社の工事担当者にご相談ください。



3 本商品の電源スイッチを入れます。

操作パネル

操作パネルの各部の名称と働きについて説明します。



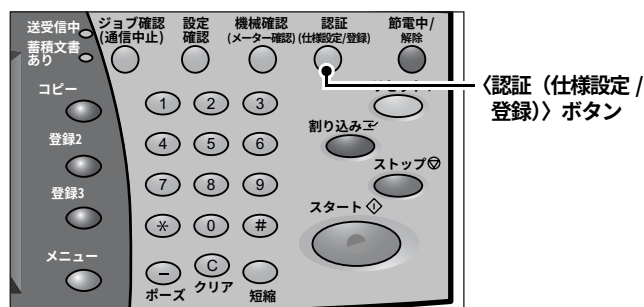
番号	名 称	働 き
1	輝度調整ダイヤル	タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。画面が暗いときや明るすぎるときは、このダイヤルで調整してください。
2	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。タッチパネルディスプレイに直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。
3	送受信ランプ	本商品からデータを送信しているときやクライアントからのデータを受信しているときに点灯します。
4	蓄積文書ありランプ	機械内部に文書を蓄積しているときに点灯します。 蓄積されている文書は、「蓄積文書リスト」で確認できます。「蓄積文書リスト」については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「レポート / リストの出力」を参照してください。
5	ジョブ確認（通信中止）ボタン	このボタンを押すと、実行中のジョブや終了したジョブの確認 / 中止操作、保存されている文書の確認 / プリント操作ができます。 本文中では、〈ジョブ確認（通信中止）〉ボタンと表します。
6	設定確認ボタン	このボタンを押すと、設定確認画面が表示されます。コピー、ファクス、スキャンの各機能に対して、初期状態から設定変更されている機能の状態を一覧表示して確認できます。ファクスやメール送信などの宛先情報も確認できます。 本文中では、〈設定確認〉ボタンと表します。
7	機械確認（メーター確認）ボタン	このボタンを押すと、機械状態、メーター、消耗品の確認、およびレポートのプリント操作ができます。 本文中では、〈機械確認（メーター確認）〉ボタンと表します。
8	認証（仕様設定 / 登録）ボタン	このボタンを押すと、機械管理者モード、または認証 / 集計管理で管理している場合の UserID の入力画面が表示されます。 本文中では、〈認証（仕様設定 / 登録）〉ボタンと表します。
9	節電中 / 解除ボタン	しばらく本商品を使用しないと、機械は消費電力量を下げて節電モードに入ります。節電中は、節電中 / 解除ボタンが点灯します。節電モードを解除するときは、節電中 / 解除ボタンを押します。 本文中では、〈節電中 / 解除〉ボタンと表します。
10	リセットボタン	表示されている各サービスの状態を初期状態に戻すときに押します。電源を入れたときと同じ状態になります。 本文中では、〈リセット〉ボタンと表します。

番号	名 称	働 き
11	割り込みボタン / ランプ	連続コピー中やプリント中に、実行中の作業を一時中断して、ほかの作業を優先させたいときに押します。割り込み中は、割り込みランプが点灯します。割り込みボタンを再度押すと、割り込みが解除され、もとの作業を再開できます。 本文中では、〈割り込み〉ボタンと表します。 クライアントから指示したプリントジョブなど、割り込み中に実行できないジョブがあります。詳細については、『ユーザーズガイド』の「17 付録」「割り込み時の注意 / 制限」を参照してください。
12	ストップボタン	コピーや通信作業を中止するときに押します。 本文中では、〈ストップ〉ボタンと表します。表します。
13	スタートボタン	原稿の読み込みを開始するときに押します。 本文中では、〈スタート〉ボタンと表します。
14	数字ボタン	コピー枚数や暗証番号などの数値を入力するときに押します。 本文中では、〈数字〉ボタンと表します。
15	短縮ボタン	ファクスやメールなどで、短縮宛先番号で宛先を指定するときに押します。 本文中では、〈短縮〉ボタンと表します。
16	C (クリア) ボタン	〈数字〉ボタンによる数値の入力を間違えたときに押します。 本文中では、〈クリア (C)〉ボタンと表します。
17	ポーズ (-) ボタン	宛先を指定するときに、番号の間にポーズを入れるときに押します。 本文中では、〈ポーズ (-)〉ボタンと表します。
18	登録ボタン	登録されている機能呼び出すときに押します。 各ボタンの機能は、メニュー画面に表示される機能と「言語切り替え」から選択して変更できます。 本文中では、〈登録〉ボタンと表します。 ボタンに機能を登録する方法については、『ユーザーズガイド』の「11 仕様設定」「初期画面の設定」を参照してください。
19	メニューボタン	メニュー画面を表示させるときに押します。 本文中では、〈メニュー〉ボタンと表します。 メニュー画面に表示させる機能は変更できます。操作方法は、『ユーザーズガイド』の「11 仕様設定」「初期画面の設定」を参照してください。
20	ワンタッチパネル	ワンタッチボタンのパネルです。 パネルをめくって 001 ~ 030、031 ~ 060、061 ~ 070 を表示します。 M01 ~ M20 は、ジョブメモリー用です。登録したジョブメモリーの 01 ~ 20 に対応しています。
21	ワンタッチボタン	宛先をワンタッチで指定できます。ワンタッチボタンは、ファクス、iFAX。スキャナー（メール送信）などで利用できます。 登録した短縮宛先番号の 001 ~ 070 が対応しています。

操作パネルの設定変更

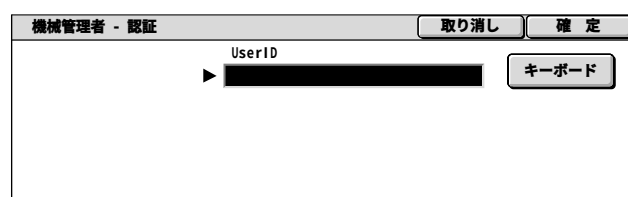
電源を入れたときや節電状態を解除したときに表示する機能、自動リセット後に表示する機能、〈登録〉ボタンへの機能の割り当て、[メニュー] 画面に表示する機能を変更できます。

- 1 〈認証 (仕様設定 / 登録)〉ボタンを押します。

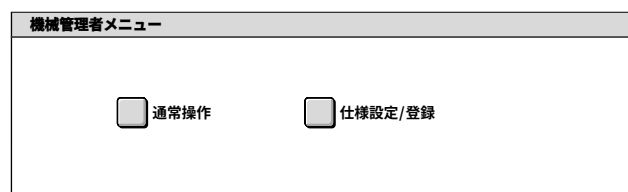


- 2 〈数字〉ボタンで UserID を入力し、[確定] を押します。

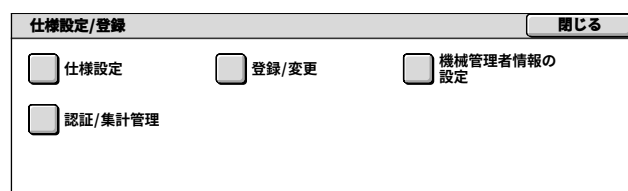
補足 ・ UserID の初期値は、「11111」です。
認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は、「x-admin」です。



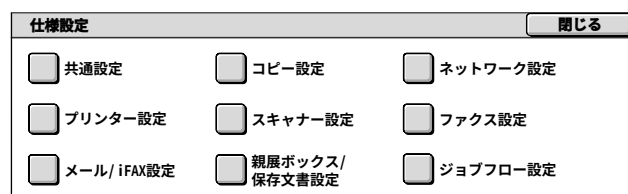
- 3 [仕様設定 / 登録] を押します。



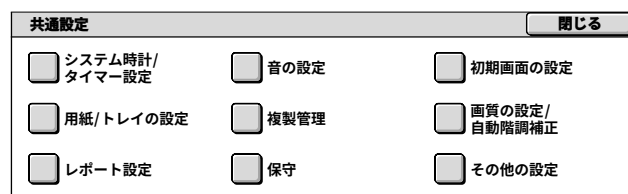
- 4 [仕様設定] を押します。



- 5 [共通設定] を押します。



- 6 [初期画面の設定] を押します。



- 7 設定 / 変更する項目を選択します。

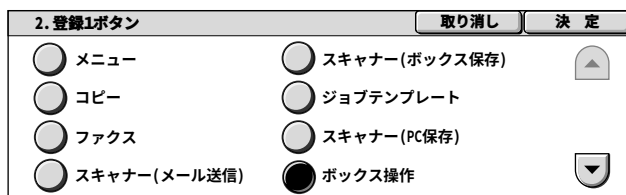


初期表示画面を変更する

電源を入れたときや、節電状態を解除したときに表示する機能を設定します。ここでは、[ボックス操作] に設定する場合を例に説明します。

- 1 [初期表示画面] を押し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 [ボックス操作] を選択します。

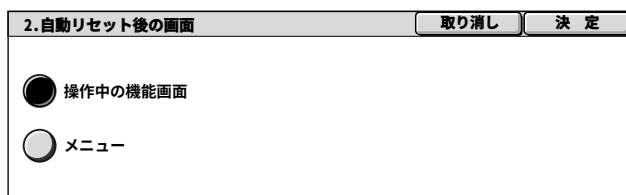
補足 ・ [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面が表示できます。



自動リセット後の画面を変更する

自動リセット後の画面を操作中の画面にするかメニューにするかを設定できます。

- 1 [自動リセット後の画面] を押し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 [操作中の機能画面] または [メニュー] を選択します。



[メニュー] 画面の変更

操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押したときに表示される、[メニュー] 画面に表示させる機能の種類やボタンの配置が変更ができます。工場出荷時に登録されている機能は、次のとおりです。

補足 ・ 機能が使用できない場合は、ボタンは表示されません。また、故障中で使用できない機能はグレー表示になります。

- コピー
- ファクス
- スキャナー (ボックス保存)
- スキャナー (PC 保存)
- ボックス操作
- ジョブメモリー
- 言語切り替え Language
- 登録 / 変更
- プリンターモード
- ファクス受信モード
- 通信管理レポート



ここでは、メニュー画面 1 ページめの右上 [言語切り替え] ボタンを [ジョブメモリー] に変更する場合を例に説明します。

- 1 [メニュー画面のボタン配列] を押し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 [言語切り替え] のボタンを選択します。

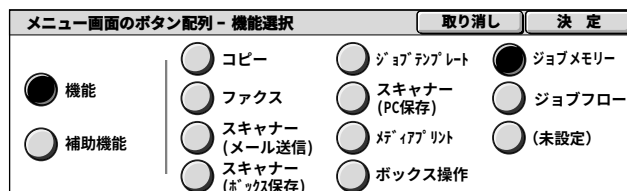
補足 ・ [▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面が表示できます。



- 3 [機能] を選択します。
- 4 [ジョブメモリー] を選択します。

補足 ・ [メニュー画面のボタン配列] 画面に表示されているボタンの位置は、[メニュー] 画面に表示されるボタンの位置を表しています。

- ・ 同じ機能を複数のボタンへ登録できません。



■機能

機能ボタンを設定できます。機能ボタンは、[メニュー] 画面の中で円形で表示されるボタンです。

[未設定] を選択すると、選択したボタンの場所は空欄になります。

■補助機能

補助機能ボタンを設定できます。補助機能は、[メニュー] 画面の中で四角で表示されるボタンです。

[未設定] を選択すると、選択したボタンの場所は空欄になります。

〈登録〉ボタンへ登録する

操作パネルの登録ボタン「登録 1」～「登録 3」に、機能を割り当てることができます。

〈登録〉ボタンに機能を登録しておく、機能を切り替えるとき、[メニュー] 画面に戻らなくても、直接機能の画面が表示できます。機能を割り当てない場合は、[未設定] を選択します。

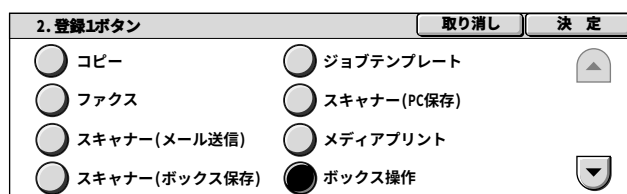
工場出荷時は、1 番めのボタンには「コピー」が登録されていて、2 番めと 3 番めのボタンは、未登録になっています。各ボタンの機能は、メニュー画面に表示される機能と「言語切り替え」から選択して変更できます。

登録内容を変更したときは、本体同梱のラベルを貼ってください。ラベルにない機能を登録した場合は、未記入のラベルに油性ペンで機能を記入して〈登録〉ボタンに貼ってください。

ここでは、「登録 2」に [ボックス操作] を割り当てる場合を例に説明します。「登録 3」も同様の手順で機能を割り当てます。

- 1 [登録 2 ボタン] を押し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 [ボックス操作] を選択します。

[▲] を押して前画面、[▼] を押して次画面が表示できます。



登録ボタンへの機能割り当て、[メニュー] 画面に表示させる機能を変更できます。

機能画面の変更

[メニュー] 画面に表示される機能のうち、次の機能の設定画面は変更できます。

- ・ コピー
- ・ ファクス
- ・ スキャナー (ボックス保存)
- ・ スキャナー (PC 保存)

変更方法については、『ユーザーズガイド』の「11 仕様設定」の「基本コピー画面」、「ファクス画面表示設定」、「基本スキャン画面」を参照してください。

内蔵フォント

標準で次のフォントを使用できます。

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと、使用できるページ記述言語、またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。

	書体	ART EX	ART IV	ESC/P	PDF Bridge
和文	平成明朝 [Wt.3]	●	●	●	●
	平成角ゴシック [Wt.5]	●	●	●	●
欧文	平成明朝 (ローマン)		●	●	
	平成角ゴシック (サンセリフ)		●	●	
	平成角ゴシック (FMT)		●		
	Arial	●	●		●
	Arial Italic	●	●		●
	Arial Bold	●	●		●
	Arial Bold Italic	●	●		●
	Century	●	●		
	Courier	●	●		●
	Courier Italic	●	●		●
	Courier Bold	●	●		●
	Courier Bold Italic	●	●		●
	Symbol	●	●		●
	Times New Roman	●	●		●
	Times New Roman Italic	●	●		●
	Times New Roman Bold	●	●		●
	Times New Roman Bold Italic	●	●		●
	ITC Zapf Dingbats				●
	Wingdings	●	●		
	GoldSEMM				●
	GoldSMM				●

●：標準装備

3 パラレルポートでの設置

この章では、本商品をパラレルインターフェイスで使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....32
- 設置手順.....32

事前準備

本商品をパラレルインターフェイスで使用する場合は、次を準備します。

- パラレルインターフェイスケーブル
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本商品はパラレルインターフェイスケーブルを使用して、コンピューターと直接接続できます。

本商品と接続しているコンピューターを介して、ネットワーク上にあるほかのコンピューターからもプリントできます。

パラレルインターフェイスを使用する場合、次の手順で行います。

- 本体側の設定
本商品のパラレルポートを設定します。
- コンピューター側の設定
プリンタードライバーをインストールします。

本体側の設定

本商品でパラレルインターフェイスを使用するための、本体側の設定手順について説明します。

補足 • CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

- 1 本商品のパラレルインターフェイスコネクタに、パラレルインターフェイスケーブルを接続します。
- 2 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。
 - 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
 - 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserIDを入力し、[確定] を押します。

補足 • UserIDの初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。
 - 3) [仕様設定 / 登録] を押します。
- 3 パラレルポートを起動します。
 - 1) [仕様設定] を押します。
 - 2) [ネットワーク設定] を押します。
 - 3) [ポート設定] を押します。
 - 4) [パラレル] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 5) [パラレル - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。

4 必要に応じて次の項目を設定します。

- プリントモード指定

受信したデータのプリント言語を設定します。

- JCL

JCL コマンドのジョブを受け付ける場合に、有効にします。

JCL コマンドは、どのプリンター言語にも依存しません。その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のデータのプリント言語を設定できるコマンドです。

- 自動排出時間

プリンターにデータが送られなくなってから、用紙を自動排出するまでの時間を設定します。

- 双方向通信

パラレルポートを半二重送信にするか、全二重送信にするかを設定します。

- インプットブライム

インプットブライム信号を受信すると、リセットの処理が行われます。[プリントモード] 指定が、[ESC/P] と [HPGL モード] のときだけ有効です。

補足 ・ 通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。コンピューターの OS によっては変更が必要な場合があります。

5 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

6 [作業終了] を押します。

7 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、パラレルポートが起動になっていることを確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

8 本商品と接続するコンピューターの電源を切ります。

9 コンピューターのパラレルインターフェイスに、パラレルインターフェイスケーブルを接続します。

10 コンピューターを起動します。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS（オペレーティングシステム）で使用できる環境」（P.17）を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

4 USB での設置

この章では、本機を USB で使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....36
- 設置手順.....36

事前準備

本機を USB で使用する場合は、次を準備します。

- USB ケーブル
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本機は、USB ケーブルを使用して、コンピューターと直接接続できます。

USB を使用する場合、次の手順で行います。

- 本体側の設定
本機の USB ポートを設定します。
- コンピューター側の設定
プリンタードライバーをインストールします。

本体側の設定

本機で USB を使用するための、本体側の設定手順について説明します。

補足 • CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 USB ポートの設定画面を表示します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [USB] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [USB - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。

3 必要に応じて次の項目を設定します。

- プリントモード指定
受信したデータのプリント言語を設定します。

- JCL

JCL コマンドのジョブを受け付ける場合に、有効にします。

JCL コマンドは、どのプリンター言語にも依存しません。その時点で使用されているプリンター言語に関係なく、次のデータのプリント言語を設定できるコマンドです。

- 自動排出時間

プリンターにデータが送られなくなってから、用紙を自動排出するまでの時間を設定します。

4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5 [作業終了] を押します。

6 本機が再起動したら、機能設定リストをプリントし、USB ポートが起動になっていることを確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS（オペレーティングシステム）で利用できる環境」（P.17）を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

5 TCP/IP (LPD/Port9100) での設置

この章では、本商品を TCP/IP (LPD/Port9100) で使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....40
- 設置手順.....40

事前準備

本商品を TCP/IP (LPD/Port9100) で使用する場合は、次を準備します。

- TCP/IP が使用できるネットワーク環境
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本商品は、TCP/IP (LPD/Port9100) を使用して、コンピューターと接続できます。
TCP/IP (LPD/Port9100) を使用する場合、次の手順で行います。

- 本体側の設定
本商品の TCP/IP (LPD/Port9100) を設定します。
- コンピューター側の設定
プリンタードライバーをインストールします。

本体側の設定

本商品で TCP/IP (LPD/Port9100) を使用するための、本体側の設定手順について説明します。LPD ポート /Port9100 ポートを起動したあと、TCP/IP を設定します。

補足 • CentreWare Internet Services や CentreWare Utilities の IP 設定ツールを使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 LPD ポートを起動する場合は LPD ポートを、Port9100 を使用する場合は Port9100 ポートを起動します。ここでは LPD ポートを起動します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [LPD] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [LPD - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

1) [プロトコル設定] を押します。

2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。

・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

6) [決定] を押します。

7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5 [作業終了] を押します。

6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、LPD ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

必要に応じてその他の LPD の設定を行ってください。LPD の設定については、「LPD」(P.70) を参照してください。また、Port9100 を使用する場合は、必要に応じてその他の Port9100 の設定を行ってください。Port9100 の設定については、「Port9100」(P.73) を参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS (オペレーティングシステム) で使用できる環境」(P.17) を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

6 NetWare での設置

この章では、本商品を NetWare のネットワークで使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....44
- 設置手順.....44

事前準備

本商品を NetWare のネットワークで使用する場合は、次を準備します。

- NetWare サーバー
- IPX/SPX または TCP/IP が使用できるネットワーク環境
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本商品は、NetWare のディレクトリーサービスとバインダリーサービスで、PServer モードをサポートしています。PServer モードでは、本商品自体がプリントサーバーとして作動し、プリントキューにあるジョブを取り出してプリントします。作成したプリンターは、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。

補足 ・ リモートプリンター (RPrinter) モードはサポートしていません。

- Novell NDPS Gateway を使用することによって、NDPS 環境で本商品からプリントすることができます。プリントするためには、あらかじめ本商品を NetWare プリント環境で動作するように設定しておくか、または LPD を起動しておき、Novell NDPS Gateway のセットアップ時にこれらを Gateway 先として設定する必要があります。ただし、NDPS で取得 / 設定可能な属性情報についてはサポートしていません。

■サポートするインターフェイス

- 100BASE-TX
- 10BASE-T

■サポートするフレームタイプ

- Ethernet II 仕様
- IEEE802.3 仕様
- IEEE802.3/IEEE802.2 仕様
- IEEE802.3/IEEE802.2/SNAP 仕様

補足 ・ 本商品は、接続しているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動します。フレームタイプを固定することもできます。ただし、同一ネットワーク上にその他のプロトコルが同時に存在する場合は、Ethernet II を使ってください。

- ネットワーク構成機器 (HUB など) が、フレームタイプの自動設定に適合していない場合があります。本商品を接続したネットワーク構成機器のポートのデータリンクランプが点灯しない場合は、本商品のフレームタイプの設定をファイルサーバーのフレームタイプに合わせてください。設定は、CentreWare Internet Services で行います。

NetWare を使用する場合は、次の手順で行います。

- 本体側の設定
 - IPX/SPX を使用する場合は、本商品の NetWare ポートを起動してから、CentreWare Utilities の CD-ROM を使用して、本商品を設定します。
 - NDPS で LPD ポートを使用する場合は、本商品の LPD ポートを起動して、TCP/IP を設定してから、CentreWare Utilities の CD-ROM を使用して、本商品を設定します。
- コンピューター側の設定

プリンタードライバをインストールします。

本体側の設定

本商品で NetWare を使用するための、本体側の設定手順について説明します。

補足 ・ CentreWare Internet Services や CentreWare Utilities の IP 設定ツールを使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

IPX/SPX を使用する場合

- 1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。
 - 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
 - 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。
 - 3) [仕様設定 / 登録] を押します。
 - 2 NetWare ポートを起動します。
 - 1) [仕様設定] を押します。
 - 2) [ネットワーク設定] を押します。
 - 3) [ポート設定] を押します。
 - 4) [NetWare] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 5) [NetWare - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
 - 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
 - 4 [作業終了] を押します。
 - 5 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、NetWare ポートが起動になっていることと NetWare の装置名とネットワークアドレスを確認します。
- 機能設定リストのプリント方法については、『ユーザズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。
- 6 CentreWare Utilities の CD-ROM を使用して、本商品を設定します。
- 設定方法については、同梱の CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

NDPS で LPD ポートを使用する場合

- 1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。
 - 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
 - 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。
- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。
- 2 LPD ポートを起動します。
 - 1) [仕様設定] を押します。
 - 2) [ネットワーク設定] を押します。

- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [LPD] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [LPD - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

- 1) [プロトコル設定] を押します。
- 2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

- 4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

- 5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。

・ 3桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

- 6) [決定] を押します。

- 7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

- 4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

- 5 [作業終了] を押します。

- 6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、LPD ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

必要に応じてその他の LPD の設定を行ってください。LPD の設定については、「LPD」(P.70) を参照してください。

- 7 CentreWare Utilities の CD-ROM を使用して、本商品を設定します。

設定方法については、同梱の CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS（オペレーティングシステム）で利用できる環境」（P.17）を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

7 Microsoft Networks(SMB) での 設置

この章では、本商品を Microsoft Networks(SMB) で使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....50
- 設置手順.....50

事前準備

本商品を Microsoft Networks (SMB) で使用する場合は、次を準備します。

- TCP/IP または NetBEUI が使用できるネットワーク環境
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本商品は、Microsoft Networks(SMB) を使用して、コンピューターと接続できます。ネットワーク環境によっては、本商品に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

Microsoft Networks(SMB) を使用する場合、次の手順で行います。

- 本体側の設定
本商品の SMB ポートを起動し、TCP/IP を設定します。
- コンピューター側の設定
プリンタードライバーをインストールします。

本体側の設定

本商品で Microsoft Networks(SMB) を使用するための、本体側の設定手順について説明します。SMB ポートを起動したあと、TCP/IP を設定します。

補足 • CentreWare Internet Services や CentreWare Utilities の IP 設定ツールを使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 SMB ポートを起動します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [SMB] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [SMB - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

1) [プロトコル設定] を押します。

2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。

・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

6) [決定] を押します。

7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5 [作業終了] を押します。

6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、SMB ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

補足 ・ プロトコルに NetBEUI を使用する場合は、CentreWare Internet Services の [ポート起動] で、SMB で使用するプロトコルに [NetBEUI] を選択してください。

必要に応じてその他の SMB の設定を行ってください。SMB の設定については、「SMB」(P.65) を参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS (オペレーティングシステム) で使用できる環境」(P.17) を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

8 インターネット印刷 (IPP) での 設置

この章では、本商品をインターネット印刷 (IPP) で使用する場合について説明しています。

- 事前準備.....54
- 設置手順.....54

事前準備

本商品をインターネット印刷 (IPP) で使用する場合は、次を準備します。

- TCP/IP が使用できるネットワーク環境
- CentreWare Utilities CD-ROM：機械に同梱

設置手順

設置手順の概要

本商品は IPP を使用して、コンピューターと接続できます。

インターネット印刷 (IPP) を使用する場合、次の手順で行います。

- 本体側の設定
本商品の IPP ポートを起動し、TCP/IP を設定します。
- コンピューター側の設定
プリンタードライバーをインストールします。

本体側の設定

本商品でインターネット印刷 (IPP) を使用するための、本体側の設定手順について説明します。IPP ポートを起動してから、TCP/IP を設定します。

補足 • CentreWare Internet Services や CentreWare Utilities の IP 設定ツールを使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 IPP ポートを起動します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [IPP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [IPP - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

1) [プロトコル設定] を押します。

2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

5) IP アドレスを〈数字〉ボタンで入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。

・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

6) [決定] を押します。

7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5 [作業終了] を押します。

6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、IPP ポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

必要に応じてその他の IPP の設定を行ってください。IPP の設定については、「IPP」(P.72) を参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

プリントするには、コンピューターにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

使用できる OS については、「各 OS (オペレーティングシステム) で使用できる環境」(P.17) を参照してください。

プリンタードライバーのインストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

9 CentreWare Internet Services を使う

この章では、CentreWare Internet Services を利用する方法について説明しています。

- 事前準備.....58
- 設置手順.....58
- CentreWare Internet Services での通信
(ポート / プロトコル) 設定項目 61

事前準備

CentreWare Internet Services を利用するには、次の準備が必要です。

- ネットワークプロトコルとして TCP/IP が利用できるコンピューター
- 本商品の設定
 - IP アドレス
 - サブネットマスク

設定中にトラブルが発生した場合は、「トラブル対処」(P.117) を参照してください。

設置手順

設置手順の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が利用できる場合に、Web ブラウザーを介して、本商品のプリンターとしての状態やジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

プリンターとしての設定では、タッチパネルディスプレイで設定する項目のうち、システム設定、各ネットワークのポート設定などに関する項目を、本サービスのプロパティ画面で設定できます。

CentreWare Internet Services を利用するには、次の手順で設定します。

- 本体側の設定

機械本体で CentreWare Internet Services を利用するための設定をします。インターネットサービス (HTTP) ポートを起動してから、IP アドレスなどを設定します。
- 設置の確認

CentreWare Internet Services が利用できるかどうかを確認します。

本体側の設定

本商品で CentreWare Internet Services を使用するための、本体側の設定手順について説明します。

インターネットサービス (HTTP) ポートを起動したあと、IP アドレスなどを設定します。

- 1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。
 - 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
 - 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は「x-admin」です。
 - 3) [仕様設定 / 登録] を押します。
- 2 インターネットサービスのポートを起動します。
 - 1) [仕様設定] を押します。
 - 2) [ネットワーク設定] を押します。
 - 3) [ポート設定] を押します。
 - 4) [インターネットサービス (HTTP)] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

- 5) [インターネットサービス - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
 - 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 3** IP アドレスなどを設定します。
- すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。
- 1) [プロトコル設定] を押します。
 - 2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。
- 補足** ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。
- 4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。
- 補足** ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
- ・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。
 - ・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。
- 6) [決定] を押します。
 - 7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。
- 補足** ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
- ・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。
 - ・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。
- 4** [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
 - 5** [作業終了] を押します。
 - 6** 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、CentreWare Internet Services のポートが起動になっていることと TCP/IP の設定を確認します。
- 機能設定リストのプリント方法については、『ユーザズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

設置の確認

コンピューターから CentreWare Internet Services に接続します。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

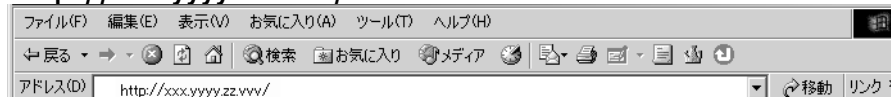
- IP アドレスの入力例（本商品の IP アドレスが、192.168.1.1 の場合）

http://192.168.1.1/



- インターネットアドレスの入力例（本商品のインターネットアドレスが、xxx.yyyy.zz.vvv の場合）

http://xxx.yyyy.zz.vvv/



- 補足** • お使いのネットワークが DNS (Domain Name System) を使用していて、DNS のネームサーバーに本商品のホスト名が登録されている場合は、ホスト名とドメイン名を組み合わせたインターネットアドレスを使って本商品にアクセスできます。ホスト名が「myhost」、ドメイン名が「ntt.co.jp」の場合、インターネットアドレスは「myhost.ntt.co.jp」となります。

- ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 本商品で、認証機能を使用している場合、[ユーザー名] と [パスワード] に UserID とパスワードを入力してください。UserID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。
- [プロパティ] タブにある [セキュリティ] > [セキュリティ一般] > [HTTPS] の [有効] にチェックを付けて、通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

IP アドレスの入力例

https://192.168.1.1/

インターネットアドレスの入力例

https://xxx.yyyy.zz.vvv/

CentreWare Internet Services が表示されない場合は、「トラブル対処」(P.117) を参照してください。

CentreWare Internet Services での通信（ポート / プロトコル）設定項目

CentreWare Internet Services を利用すると、コンピューターから本商品の様々な設定変更ができます。

- 補足**
- ・ 設定したい項目が表示されていない場合は、[プロパティ] タブの [ポート起動] で目的のポートが起動されているかを確認してください。
 - ・ 操作パネルを操作中に CentreWare Internet Services から設定を変更した場合には、操作パネルの画面上に変更した設定内容が表示されません。この場合には、本商品の電源を切 / 入してください。

ここでは、ポートやプロトコルの設定に関する説明をします。

Ethernet	62
パラレル	63
USB	64
SMB	65
NetWare	66
TCP/IP	68
LPD	70
SNMP	71
IPP	72
Port9100	73
LDAP	74
メール	75
HTTP	78
WebDAV	79

- 補足**
- ・ CentreWare Internet Services で設定する項目の詳細は、CentreWare Internet Services 画面の右上にある [ヘルプ] をクリックして、表示されるヘルプを参照してください。

CentreWare Internet Services は、次の Web ブラウザーで動作することを確認しています。

■Windows OS の場合

- ・ Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack1 以降
- ・ Netscape 7.0 以降

Ethernet

Ethernet インターフェイスの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [ポート設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [Ethernet] をクリックします。
- 6 [Ethernet 設定] のプルダウンメニューで、Ethernet インターフェイスの通信速度を設定します。
- 7 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

パラレル

パラレルインターフェイスの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [ポート設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [パラレル] をクリックします。
- 6 [双方向通信] を有効にするには、[有効] のチェックを付けます。
- 7 [自動排他時間] の設定をします。
- 8 [Adobe 通信プロトコル] のプルダウンメニューで、プロトコルを設定します。

補足 ・ PostScript 3 キット（オプション）を装着した場合だけ、設定します。
- 9 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

USB

USB の設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - ・ インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [ポート設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [USB] をクリックします。
- 6 [自動排出時間] の設定をします。
- 7 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

SMB

SMB の設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [SMB] をクリックします。
- 6 [ワークグループ名] を設定します。
- 7 [ホスト名] を設定します。
- 8 [最大セッション数] を設定します。
- 9 [Unicode サポート] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。
- 10 [自動マスターモード] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。
- 11 [パスワード暗号化] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。
- 12 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

NetWare

NetWare の設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [NetWare] をクリックします。
- 6 [装置名] を設定します。
- 7 [動作モード] のプルダウンメニューで、動作モードを設定します。
- 8 [ファイルサーバー名] を設定します。

補足 ・ この項目は、バインダリーサービスで使用する場合だけ、設定します。
- 9 [通知言語] のプルダウンメニューで、言語を設定します。
- 10 [キュー探索間隔] を設定します。
- 11 [検索回数] を設定します。
- 12 [パスワード] を設定します。
 - 1) [パスワード] を入力します。
 - 2) [パスワードの確認入力] に、[パスワード] で入力した同じパスワードを入力します。
- 13 [NDS - ツリー名] を設定します。

補足 ・ この項目は、ディレクトリーサービスで使用する場合だけ、設定します。

14 [NDS - コンテキスト名] を設定します。

補足 ・ この項目は、ディレクトリーサービスで使用する場合だけ、設定します。

15 [トランスポートプロトコル - フレームタイプ] のプルダウンメニューで、フレームタイプを設定します。**16** [SLP - アクティブディスカバリー] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。**17** 設定した値を本商品の設定値として反映します。

1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。

4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

TCP/IP

TCP/IP の設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [TCP/IP] をクリックします。
- 6 [ホスト名] を設定します。
- 7 [IP アドレス取得方法] のプルダウンメニューで、取得方法を設定します。
- 8 [IP アドレス] を設定します。

補足 ・ IP アドレスの取得方法で、[DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得] のどれかを選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。
- 9 [サブネットマスク] と [ゲートウェイアドレス] を設定します。

補足 ・ IP アドレスの取得方法で、[DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得] のどれかを選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。
- 10 DNS を設定します。
 - 1) [DNS サーバーアドレス取得方法] で、DHCP を使用する場合は、[DHCP] のチェックを付けます。
 - 2) [DNS サーバーアドレス 1 ～ 3] を設定します。

補足 ・ [DNS サーバーアドレス取得方法] で、[DHCP] を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。
 - 3) [DNS ドメイン名] を設定します。

- 4) [ドメイン検索リストの自動作成] をする場合は、[する] のチェックを付けます。
- 5) [検索ドメイン名 1 ~ 3] を設定します。
- 6) [タイムアウト] を設定します。
- 7) [DNS の動的更新] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。

11 WINS を設定します。

- 1) [WINS サーバーアドレス取得方法] で、DHCP を使用する場合は、[DHCP] のチェックを付けます。

- 2) [プライマリー WINS サーバーアドレス] を設定します。

補足 ・ [WINS サーバーアドレス取得方法] で、[DHCP] を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

- 3) [セカンダリー WINS サーバーアドレス] を設定します。

補足 ・ [WINS サーバーアドレス取得方法] で、[DHCP] を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。

12 アクセス制御リストを設定します。

- 1) [有効] のチェックを付けます。
- 2) [編集] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
- 3) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

- 4) [受付 IP アドレス] を設定します。

- 5) [IP アドレスマスク] を設定します。

- 6) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。
ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

- 7) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。

13 [プロトコル設定] のフォルダー内にある [TCP/IP] をクリックします。

14 設定した値を、本商品の設定値として反映します。

- 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。
ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

- 2) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。

- 3) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

LPD

LPD ポートの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [LPD] をクリックします。
- 6 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

補足 ・ この項目は、PostScript 3 キット（オプション）を装着した場合だけ、設定します。
- 7 [タイムアウト] を設定します。
- 8 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

SNMP

SNMP の設定手順について説明します。

補足 ・ 本商品をリモートで管理する CentreWare などのソフトウェアを使用する場合、SNMP のポートを起動にしてください。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - ・ インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [SNMP] をクリックします。
- 6 コミュニティー名を変更する場合は、[コミュニティ名登録（取得専用）]、[コミュニティ名登録（取得 / 書き込み用）]、[コミュニティ名登録（Trap 通知用）] を設定します。

補足 ・ 通常は設定を変更しないでください。
- 7 [システム担当者] を設定します。
- 8 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
- 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
- 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

IPP

IPP ポートの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [IPP] をクリックします。
- 6 [追加ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 7 [管理者モード] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。
- 8 [DNS 使用] を有効にする場合は、[有効] のチェックを付けます。
- 9 [タイムアウト] を設定します。
- 10 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

Port9100

Port9100 ポートの設定手順について説明します。

補足 ・ HP-UX を使用する場合、Port9100 ポートを起動にしてください。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - ・ IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - ・ インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [Port9100] をクリックします。
- 6 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 7 [タイムアウト] を設定します。
- 8 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

LDAP

LDAP ポートの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [LDAP] をクリックします。
- 6 [LDAP サーバーアドレス] を設定します。
- 7 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 8 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。
- 9 本商品の操作パネルから、LDAP 関連の項目を設定します。

メール

ポート起動

メール機能で使用するポートの起動手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [ポート起動] をクリックします。
- 5 メール機能で使用するポートを起動します。
 - 1) メール通知、ジョブの終了通知を使用する場合は、[メール通知] の [起動] のチェックを付けます。
- 6 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

項目設定

メール機能と iFAX 機能の各項目の設定手順を説明します。



補足 ・ CentreWare Internet Services で設定する項目の詳細は、CentreWare Internet Services 画面の右上にある [ヘルプ] をクリックして、表示されるヘルプを参照してください。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

・ IP アドレスの入力例

http://192.168.1.1/

・ インターネットアドレスの入力例

http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 本商品と管理者のメールアドレスを設定します。
 - 1) [管理者メールアドレス] を設定します。
 - 2) [本体メールアドレス] を設定します。

- 5 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 6 [TCP/IP] をクリックします。
- 7 [ホスト名] を設定します。
- 8 DNS を設定します。
 - 補足 ・ DNS の設定は、POP3 サーバーや SMTP サーバーのアドレスを IP アドレスではなく、ドメイン名形式で設定している場合に必要です。
 - 1) [DNS サーバーアドレス取得方法] で、DHCP を使用する場合は、[DHCP] のチェックを付けます。
 - 2) [DNS サーバーアドレス 1 ～ 3] を設定します。
 - 補足 ・ [DNS サーバーアドレス取得方法] で、[DHCP] を選択している場合は、この項目の設定は必要ありません。
 - 3) [DNS ドメイン名] を設定します。
 - 4) [ドメイン検索リストの自動作成] をする場合は、[する] のチェックを付けます
 - 5) [検索ドメイン名 1 ～ 3] を設定します。
 - 6) [タイムアウト] を設定します。
 - 7) [DNS の動的更新] を設定する場合は、[する] のチェックを付けます。
- 9 [メール] をクリックします。
- 10 [エラー通知メールの印刷] を有効にする場合は [有効] のチェックを付けます。
- 11 [SMTP ポート番号] を設定します。
 - 補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 12 [プロトコル設定] のフォルダー内にある [メール] をクリックします。
- 13 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。
 - 補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

HTTP

HTTP ポートの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [HTTP] をクリックします。
- 6 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 7 [最大セッション数] を設定します。
- 8 [タイムアウト] を設定します。
- 9 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

WebDAV

WebDAV ポートの設定手順について説明します。



- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
http://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 ・ポート番号を指定する場合には、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [プロトコル設定] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [WebDAV] をクリックします。
- 6 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 7 [タイムアウト] を設定します。
- 8 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
 - 2) 機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
 - 3) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 4) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

10 メール機能の設定

この章では、本商品でメールを使ったサービスを利用するための、設定方法について説明しています。

- メール機能の概要.....82
- 事前準備.....83
- 設置手順.....84

メール機能の概要

本商品は、メールを送受信できます。

メールを送受信することで、次の機能を利用できます。

- メール通知
- ジョブの終了通知

メール通知

CentreWare Internet Services の「メール通知設定」で設定した内容（消耗品の状態、交換部品の状態、用紙の状態など）を指定された宛先へメールで通知できます。

ジョブの終了通知

コンピューターから本商品にプリントしたときに、そのプリントが終了したことをメールで通知できます。

事前準備

メール機能を利用する前に、次の項目の準備が必要です。

項目	説明	メール通知	ジョブの終了通知
TCP/IP アドレス	本商品の TCP/IP アドレスです。 メールは、TCP/IP で通信します。	○	○
サブネットマスク	ネットワークをサブネットで分割して使用している場合は必要です。	△	△
ゲートウェイアドレス	複数のネットワークをゲートウェイを介して使用している場合は必要です。	△	△
管理者メールアドレス	本商品の管理者のメールアドレスを設定します。	○	○
本体メールアドレス	本商品から送信したメールの送信者のアドレスに使用します。	○	○
DNS サーバーアドレス	POP3 サーバーや SMTP サーバーのアドレスを、IP アドレスではなくドメイン名形式で設定した場合は必要です。	△	△
SMTP サーバーアドレス	本商品のメール送信では、SMTP サーバーを使用します。メール受信でも使用できます。	○	○
SMTP 認証ユーザー	認証が必要な SMTP サーバーの場合、認証用のユーザー名を指定します。	△	△
POP3 サーバー	POP3 サーバーを使用してメールを受信する場合には、POP3 サーバーに本商品のメールアドレス、ユーザー登録をします。 また本商品には、POP3 サーバーのアドレスを設定する必要があります。	△	△
POP ユーザー名	POP 受信用のユーザーアドレスを設定します。	△	△

○：設定が必要です △：必要に応じて設定します ×：対応していません

メールアカウントの登録

本商品でメールを利用するには、あらかじめメールサーバーにメールアカウントを登録する必要があります。

補足 ・ メールアカウントの登録については、システム管理者にお問い合わせください。

メール環境の設定

本商品から、ポートの起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどの設定をします。

補足 ・ CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

設置手順

設置手順の概要

本商品でメール機能を利用するための、設置手順の概要について説明します。

メール機能を利用するには、次の2つの手順で行います

- ポートの起動と TCP/IP の設定
TCP/IP を利用できるように、機械本体で設定します。
- メール環境の設定
メール機能の項目を、機械本体で設定します。

ポートの起動と TCP/IP の設定

本商品で TCP/IP を使用するための、設定手順について説明します。

メールポートを起動して、IP アドレスなどを設定します。

補足 ・ CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 メール機能で使用するポートを起動します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [メール送信] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [メール送信 - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

- 1) [プロトコル設定] を押します。
- 2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

- 4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。
補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
 ・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。
 ・ 3桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。
- 6) [決定] を押します。
- 7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。
補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
 ・ サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。
 ・ ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。
- 4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 5 [作業終了] を押します。
- 6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、ポートの起動と TCP/IP の設定を確認します。
 機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

メール環境の設定

メールを使用するために、メールの各項目を設定します。

補足 ・ CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

- 1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。
 - 1) 〈認証 (仕様設定 / 登録)〉ボタンを押します。
 - 2) 〈数字〉ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。
補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。
 - 3) [仕様設定 / 登録] を押します。
- 2 メールアドレス、ホスト名、ドメイン名を設定します。
 - 1) [仕様設定] を押します。
 - 2) [ネットワーク設定] を押します。
 - 3) [本体メールアドレス / ホスト名] を押します。
 - 4) [メールアドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
 - 5) 表示されるキーボードで [メールアドレス] を入力します。
 - 6) [決定] を押します。
 - 7) [ホスト名] と [ドメイン名] を同様に設定します。
 - 8) [閉じる] を押します。

■[メール受信プロトコル] で [SMTP] を選択する場合

エイリアスは設定できません。アカウント (@マークの左側) は、任意の名称を設定できます。アドレス部 (@マークの右側) には、ホスト名とドメイン名を組み合わせたものを設定します。

〈例〉 mymail@myhost.ntt.co.jp

- アカウント名: mymail
- ホスト名: myhost
- ドメイン名: ntt.co.jp

■[メール受信プロトコル] で [POP3] を選択する場合

アカウント (@マークの左側) には POP ユーザー名を、アドレス部 (@マークの右側) には受信用 POP3 メールサーバー名を設定します。mymail@ntt.co.jp のようなエイリアスも設定できます。

〈例〉 mymail@mb1.abc.ntt.co.jp

- アカウント名: mymail

3 受信プロトコルを設定します。

- 1) [その他の設定] を押します。
- 2) [メール受信プロトコル] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) 環境に合わせて、[SMTP]、[POP3] から選択します。
- 4) [決定]、[閉じる] と押します。

■[メール受信プロトコル] で [SMTP] を選択した場合

- 1) [SMTP サーバー設定] を押し、SMTP サーバーの次の項目を設定します。

- [SMTP サーバー - ポート番号]

1 ~ 65535 で入力します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

■[メール受信プロトコル] で [POP3] を選択した場合

- 1) [POP3 サーバー設定] を押し、POP3 サーバーの次の項目を設定します。

- [POP3 サーバー - 指定方法]

[IP アドレスで指定]、[サーバー名で指定] から選択します。

- [POP3 サーバー - IP アドレス]

[POP3 サーバー - 指定方法] で、[IP アドレスで指定] を選択した場合に入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ~ 255 までの数値です。ただし、224 ~ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

- 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉 ボタンを押して、再入力してください。
- 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

- [POP3 サーバー - サーバー名]

[POP3 サーバー - 指定方法] で、[サーバー名で指定] を選択した場合に入力します。

- [POP3 サーバー - ポート番号]

1 ~ 65535 で入力します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。

- [POP3 サーバー - 受信間隔]

POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。

- [POP3 サーバー - ログイン名]
POP3 サーバーにログインするための名前を入力します。
 - [POP3 サーバー - パスワード]
[新しいパスワード] と [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。パスワードを設定しない場合は、空欄のまま [決定] を押します。
 - [POP3 受信パスワードの暗号化]
パスワードを暗号化したい場合に [する (APOP)] を選択します。
- 2) [決定]、[閉じる] と押します。

4 送信の設定をします。

- 1) [SMTP サーバー設定] を押し、SMTP サーバーの次の項目を設定します。
- [SMTP サーバー - 指定方法]
[IP アドレスで指定]、[サーバー名で指定] から選択します。
 - [SMTP サーバー - IP アドレス]
[SMTP サーバー - 指定方法] で、[IP アドレスで指定] を選択した場合に入力します。
補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。
・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。
 - [SMTP サーバー - サーバー名]
[SMTP サーバー - 指定方法] で、[サーバー名で指定] を選択した場合に入力します。
 - [SMTP サーバー - ポート番号]
1 ～ 65535 で入力します。
補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
・ [メール受信プロトコル] で [SMTP] を選択して、すでに設定している場合は、設定不要です。
 - [送信時の認証方式]
[利用しない]、[POP before SMTP]、[SMTP AUTH] から選択します。
補足 ・ [POP before SMTP] を選択した場合は、必ず POP3 の設定を行ってください。
 - [SMTP AUTH - ログイン名]
[送信時の認証方式] で [SMTP AUTH] を選択したときに設定します。
 - [SMTP AUTH - パスワード]
[送信時の認証方式] で [SMTP AUTH] を選択したときに設定します。[新しいパスワード] と [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。パスワードを設定しない場合は、空欄のまま [決定] を押します。
- 2) [閉じる] を押します。

5 受信ドメインの制限を設定します。

- 1) [受信ドメインの制限] を押し、次の項目を設定します。
- 制限方法
[制限しない]、[受信許可するドメインを指定]、[受信拒否するドメインを指定] から選択します。
 - [ドメイン 1] ～ [ドメイン 50]
[制限方法] で [受信許可するドメインを指定] または [受信拒否するドメインを指定] を選択した場合に、そのドメインを最大 50 まで指定できます。

2) [閉じる] を押します。

6 S/MIME についての設定をします。

1) [PKI (公開鍵基盤) 設定] を押します。

2) [S/MIME 設定] を押し、以下の項目を設定します。

• 本体の証明書－ S/MIME

本商品に証明書を関連付けます。証明書の作成については、「通信のセキュリティー機能設定」(P.99) を参照してください。

• S/MIME 通信

証明書 ID が設定されている場合に、S/MIME 通信を有効にするか無効にするかを設定します。

• 信頼できないメールの受信

信頼できないメールを受信するかしないかを設定します。

• メッセージダイジェスト方式

メッセージダイジェスト方式を、[SHA1]、[MD5] のどちらかに設定します。

• 本文の暗号化方式

本文の暗号化方式を、[3DES]、[RC2-40]、[RC2-64]、[RC2-128] の中から選択します。

• デジタル署名－メール送信

メールを送信するときに、常にデジタル署名をするかどうか、または送信するときに選択するかを設定できます。

• 証明書の自動取得

宛先表に登録されているメールアドレスから、S/MIME 用証明書が添付されたメールを受信したとき、自動的に証明書を保存するかどうかを設定します。

7 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

8 [作業終了] を押します。

9 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、各項目が設定されていることを確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

11 スキャン機能の設定

この章では、本商品でスキャンを使ったサービスを利用するための設定方法について説明しています。

- スキャン機能の概要.....90
- スキャナー（ボックス保存）の設定 91
- スキャナー（PC 保存）の設定 96

スキャン機能の概要

本商品ではスキャン機能が利用できます。

スキャン機能を利用すると、次の機能を利用できます。

- スキャナー（ボックス保存）
- スキャナー（PC 保存）

■スキャナー（ボックス保存）

データとして取り込みたい原稿を本商品で読み込んで（スキャンして）、本商品の親展ボックスに蓄積します。蓄積された文書は、ネットワークに接続しているコンピューターから取り出すことができます。

親展ボックスからは、スキャンした文書以外に、ほかのファクスからの親展通信で受信した文書を取り出すこともできます。

■スキャナー（PC 保存）

本商品をネットワーク環境に接続し、FTP プロトコルや SMB プロトコルを使用して、ネットワーク上のコンピューターにスキャンデータを保存できます。

データとして取り込みたい原稿を本商品で読み込んで（スキャンして）、ネットワークに接続しているコンピューターに保存します。

スキャナー（ボックス保存）の設定

設置手順の概要

本商品でスキャナー（ボックス保存）機能を使用するための設置手順の概要について説明します。

スキャナー（ボックス保存）機能を使用するには、次の手順で行います。

- ポートの起動と TCP/IP の設定

弊社製のネットワークスキャナーユーティリティ 2（ネットワークスキャナードライバー、親展ボックスビューワー 2）を使用する場合は、Salutation ポートを起動し、IP アドレスなどを設定します。

WebDAV プロトコルに対応している CentreWare EasyOperator などの弊社製アプリケーションを使用する場合は、WebDAV ポートとインターネットサービス（HTTP）ポートを起動し、IP アドレスなどを設定します。

CentreWare EasyOperator を使用すると、スキャナードライバーを使用せずに、本商品の親展ボックスに蓄積されている文書を取り込みます。

- 親展ボックスの登録

スキャンデータを保存する親展ボックスを登録します。

- コンピューターの設定

CentreWare EasyOperator を使用する場合は、CentreWare EasyOperator をコンピューターにインストールします。

CentreWare EasyOperator は、本商品に同梱されている CentreWare Utilities の CD-ROM に入っています。インストール手順については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

ポートの起動と TCP/IP の設定

スキャナー（ボックス保存）を使用するためにポート（Salutation、または WebDAV ポートとインターネットサービス（HTTP）ポート）を起動し、IP アドレスなどを設定します。本商品で設定する手順を説明します。

補足 • CentreWare Internet Services を利用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」（P.57）を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

1) <認証（仕様設定 / 登録）> ボタンを押します。

2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 • UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 ポートを起動します。

• ネットワークスキャナーユーティリティを使用する場合

1) [仕様設定] を押します。

2) [ネットワーク設定] を押します。

3) [ポート設定] を押します。

4) [Salutation] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

- 5) [Salutation - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- WebDAV プロトコルに対応している CentreWare EasyOperator などの弊社製アプリケーションを使用する場合
- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [WebDAV] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [WebDAV - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ポート設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 8) 同様に [インターネットサービス (HTTP)- ポート] を起動します。
- 9) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

- 1) [プロトコル設定] を押します。
- 2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 4 へ進んでください。

補足 • DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

- 4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。
- 補足** • アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。
- 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。
- 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

- 6) [決定] を押します。
- 7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 • アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

• サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

• ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

4 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

5 [作業終了] を押します。

6 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、Salutation ポート、または WebDAV ポートとインターネットサービス (HTTP) ポートの起動と TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

親展ボックスの登録

スキャンした文書を蓄積する親展ボックスの登録手順を説明します。

親展ボックスに保存された文書は、スキャナードライバー、CentreWare InternetServices、またはCentreWare EasyOperator などを使用してコンピューターに取り込みます。

文書の取り込み方法については、『ユーザーズガイド』の「9 コンピューターからの操作」「スキャンデータを取り込む」を参照してください。CentreWare EasyOperator の操作方法については、CentreWare EasyOperator のオンラインヘルプを参照してください。

親展ボックスは 200 個まで登録できます。設定、または変更できる項目は次のとおりです。

- ボックス名称

親展ボックスに付ける名前を設定します。半角で 20 文字（全角で 10 文字）まで入力できます。

- パスワード

親展ボックスのパスワードを 20 桁以内で設定できます。暗証番号なしにも設定できます。このパスワードは、機械管理者の暗証番号が設定されているときだけ有効です。

- アクセス制限

パスワードを設定した場合に、親展ボックスへの保存、文書のプリントや削除の操作ごとに、パスワードによる操作の制限が設定できます。

- 文書取り出し後の削除

親展ボックスの文書を取り出したり、プリントしたり、またはジョブフローによって転送されたりしたあとに、文書を削除するかどうかを設定できます。

- 保管期間経過文書の削除

選択している親展ボックス内に蓄積されている文書を、保存期間経過後の指定された時刻に削除する動作を有効にするかどうかを設定できます。

- ジョブフローの関連付け

ジョブフローの関連付けの設定または変更、およびジョブフローを実行できます。

ここでは、本商品で親展ボックスを登録する手順を説明します。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。

2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要なときがあります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 [登録 / 変更] を押します。

3 [親展ボックス登録] を押します。

登録 / 変更			閉じる
☐ 親展ボックス登録	☐ ジョブフロー登録	☐ 宛先表登録 (短縮宛先登録)	
☐ 宛先グループ登録	☐ コメント登録	☐ 用紙トレイの サイズ / 用紙種類	

- 4 登録したいボックスを選択して、
[登録 / 変更] を押します。

補足 ・ 登録されていない親展ボックスは、「(未登録)」と表示されます。

- 5 パスワードの設定をします。

■パスワードを設定する場合

- 1) [設定する] を押します。
- 2) パスワードを〈数字〉ボタンを使って 20 桁以内で入力して、[決定] を押します。
[親展ボックス XXX - 登録 / 変更] 画面が表示されます。XXX は、登録する親展ボックス番号です。

補足 ・ 入力したパスワードは、「*」で表示されます。入力を間違えたときは、〈C〉を押して、再入力してください。

■パスワードを設定しない場合

- 1) [設定しない] を選択して、[決定] を押します。
[親展ボックス XXX - 登録 / 変更] 画面が表示されます。XXX は、登録する親展ボックス番号です。

- 6 必要に応じて、ほかの項目を設定します。設定する項目を選択して、[設定 / 変更] を押します。設定が終わったら、[決定] を押します。

■ボックス名称

親展ボックスに付ける名前を設定します。半角で 20 文字 (全角で 10 文字) まで入力できます。

補足 ・ 操作パネルにあるボタンも入力に使用できます。

- ・ 入力できる漢字については、『ユーザーズガイド』の「17 付録」「表示できる漢字一覧」を参照してください。

■アクセス制限

パスワードを設定した場合、親展ボックスへの保存、文書のプリントや削除の操作ごとに、パスワードによる操作の制限が設定できます。

- ・ 文書入力 (書き込み)

親展ボックスを選択するときに、パスワードの入力が必要になります。

- ・ プリント / 削除 (読み出し)

親展ボックスの文書をプリントまたは削除するときに、パスワードの入力が必要になります。

- ・ 常時

上記の両方の操作に、パスワードの入力が必要になります。

■文書取り出し後の削除

親展ボックスの文書を取り出したり、プリントしたり、またはジョブフローによって転送されたりしたあとに、文書を削除するかどうかを設定できます。

- 削除しない
文書は保存されます。
- 削除する
文書は削除されます。

■保存期間経過文書の削除

【仕様設定】の【保存文書設定】で、【文書の保存期間】が設定されている場合、保存期間を経過したあと指定された時刻に文書を削除します。

【文書の保存期間】については、『ユーザーズガイド』の「11 仕様設定」「保存文書設定」を参照してください。

■ジョブフローの関連付け

ジョブフローの関連付けの設定または変更、およびジョブフローを選択して実行できます。

- 7 【登録 / 変更】画面で設定した内容を確認して、【閉じる】を押します。
- 8 【仕様設定 / 登録】画面が表示されるまで、【閉じる】を押します。
- 9 【作業終了】を押します。

スキャナー（PC 保存）の設定

事前準備

本商品でスキャナー（PC 保存）機能を使用するには、あらかじめ次の環境が必要です。

■FTP で使用する場合

FTP 転送で使用する場合は、あらかじめ次の FTP サーバーと、FTP サーバーへのアカウント（ログイン名とパスワード）の登録が必要です。

- Microsoft Windows Server 2003 の場合
Microsoft Internet Information Server 6.0 の FTP サービス
- Microsoft Windows NT Server 4.0、Microsoft Windows 2000 Server、Microsoft Windows NT Workstation 4.0、Microsoft Windows 2000 Professional、Microsoft Windows XP の場合
Microsoft Internet Information Server 3.0 以降の FTP サービス
- Novell NetWare の場合
NetWare 5.11J、5.12J の FTP サービス

各 FTP サービスの設定については、ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

■SMB で使用する場合

SMB 転送する場合は、あらかじめ共有フォルダー機能が利用できる、次の OS のコンピューターが必要です。

- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows NT 4.0
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows Server 2003*
- * アクティブディレクトリーがインストールされていないこと
- Microsoft Windows XP

設置手順の概要

本商品でスキャナー（PC 保存）機能を使用するための設置手順の概要について説明します。

スキャナー（PC 保存）機能を使用するには、次の手順で行います。

- ポートの起動と TCP/IP の設定
FTP クライアントポート、SMB ポートを起動し、本商品の IP アドレスなどを設定します。
- FTP と SMB のフォルダー準備
コンピューターに転送先のフォルダーを作成します。

補足 ・ SMB の場合は、設定できるユーザーはローカルユーザーだけです。ドメインユーザーは使用できません。

ポートの起動と TCP/IP の設定

スキャナー（PC 保存）を使用するためにポート（SMB、FTP クライアント）を起動し、IP アドレスなどを設定します。本商品で設定する手順を説明します。

補足 ・ CentreWare Internet Services を使用して設定することもできます。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

1 [機械管理者メニュー] 画面を表示します。

- 1) <認証 (仕様設定 / 登録)> ボタンを押します。
- 2) <数字> ボタン、または [キーボード] を押して表示されるキーボードを使って、UserID を入力し、[確定] を押します。

補足 ・ UserID の初期値は「11111」です。認証管理機能を利用している場合、パスワードが必要な場合があります。パスワードの初期値は「x-admin」です。

- 3) [仕様設定 / 登録] を押します。

2 SMB プロトコルを使用する場合は、SMB ポートを起動します。

- 1) [仕様設定] を押します。
- 2) [ネットワーク設定] を押します。
- 3) [ポート設定] を押します。
- 4) [SMB] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) [SMB - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 6) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 7) [ポート設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

3 FTP プロトコルを使用する場合は、FTP クライアントポートを起動します。

- 1) [FTP クライアント] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 2) [FTP クライアント - ポート] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) [起動] を選択し、[決定] を押します。
- 4) [ネットワーク設定] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

4 IP アドレスなどを設定します。

すでに IP アドレスが設定されている場合は、この手順は不要です。DHCP や BOOTP 環境がある場合は、取得方法だけを設定します。アドレスが自動で取得できないときや、手動で設定するときは IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定状態を確認します。

- 1) [プロトコル設定] を押します。
- 2) [TCP/IP - IP アドレス取得方法] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 3) [DHCP から取得]、[BOOTP から取得]、[RARP から取得]、[DHCP/Autonet から取得]、[手動で設定] のどれかを選択し、[決定] を押します。[手動で設定] 以外を選択した場合は、手順 5 へ進んでください。

補足 ・ DHCP サーバーを使用する場合、同時に WINS (Windows Internet Name Service) サーバーも使用してください。

- 4) [TCP/IP - IP アドレス] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 5) IP アドレスを数字ボタンで入力します。

補足 ・ アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・ 入力を間違えたときは、<C (クリア)> ボタンを押して、再入力してください。

・ 3 桁未満で次のビットに移動するときは、[決定 / 次選択] を選択します。

- 6) [決定] を押します。

7) [TCP/IP- サブネットマスク] と [TCP/IP- ゲートウェイアドレス] も同様に設定します。

補足 ・アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は、0 ～ 255 までの数値です。ただし、224 ～ 225.xxx.xxx.xxx および 127.xxx.xxx.xxx は設定できません。

・サブネットマスクは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値を組み合わせで指定します。ただし、途中の値は 0 に設定できません。

・ゲートウェイアドレスを設定しない場合は、0.0.0.0 を入力してください。

5 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

6 [作業終了] を押します。

7 本商品が再起動したら、機能設定リストをプリントし、SMB ポートと FTP クライアントの起動と TCP/IP の設定を確認します。

機能設定リストのプリント方法については、『ユーザーズガイド』の「13 機械確認」「メーター確認 / レポート出力」を参照してください。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定手順について説明します。

■FTP で使用する場合

ログインするサーバーに転送先のフォルダーを作成します。

■SMB で使用する場合

コンピューター上にフォルダーを作成し、共有フォルダーに設定します。

12 通信のセキュリティー機能設定

この章では、本商品で通信のセキュリティー機能を使ったサービスを利用するための設定方法について説明しています。

- HTTP の通信を暗号化する場合の設定 100
- メールの暗号化 / デジタル署名をする場合の設定 102

HTTP の通信を暗号化する場合の設定

設置手順の概要

HTTP の通信を暗号化する場合は、次の手順で行います。

- 本体側の設定

本商品に証明書を設定します。証明書は、本体出荷時には、本商品にインポートされていません。必要に応じて、SSL サーバー用をインポートします。

証明書を設定する方法は、次のとおりです。

- CentreWare Internet Services で証明書を設定する

証明書の種類によって、次の 2 つの方法があります。

- 本商品で自己証明書を生成して、HTTPS を有効にします。

- HTTPS を有効にして、本商品に作成済みの証明書をインポートします。

- コンピューター側の設定

「https」から始まるアドレスを使用してください。

本体側の設定

ここでは、CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合の手順について説明します。

CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合と作成済みの証明書を本商品にインポートする場合があります。

ここでは、自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合について説明します。

注記 • 本体で生成した自己証明書、または証明書の文字コードが UTF-8 で記載された証明書を使って SSL 通信を行う場合、次の現象が発生します。

- Windows 98SE 以前の OS 環境で Internet Explorer を利用すると、証明書の発行者 / 発行先が正しく表示されません。

- MacOS X 10.2 以降の OS 環境で Internet Explorer を利用すると、SSL で接続できません。

これは、証明書の文字コード (UTF-8) を OS が認識できないためです。上記 OS 環境でご利用の場合は、Netscape 7 を使用してください。

作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

注記 • 証明書をインポートするときに、[自デバイス] または [その他] のどちらかのカテゴリに、すでに同じ証明書が登録されている場合、インポートはできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57) を参照してください。

- 1 Web ブラウザーを起動します。

- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。

- IP アドレスの入力例

http://192.168.1.1/

- インターネットアドレスの入力例

http://xxx.yyyy.zz.vvv/

補足 • ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。

- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 5 [セキュリティー一般] をクリックします。
- 6 証明書を生成します。
 - 1) [自己証明書の生成] ボタンをクリックします。
 - 2) [公開キーのサイズ] を必要に応じて設定します。
 - 3) [発行者] を必要に応じて設定します。
 - 4) [証明書の生成] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。
- 7 Web ブラウザーの再読み込みを行います。
- 8 [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 9 [セキュリティー一般] をクリックします。
- 10 [HTTPS] の [有効] にチェックを付けます。
- 11 [ポート番号] を設定します。

補足 ・ ほかのポートのポート番号と同じ番号を使用しないでください。
- 12 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。
 - 2) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 3) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

Web ブラウザーと本商品の通信を暗号化する場合には、Web ブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

- IP アドレスの入力例

https://192.168.1.1/

- インターネットアドレスの入力例

https://xxx.yyyy.zz.vvv/

IPP の通信（インターネット印刷）を暗号化する場合には、[プリンタの追加] からプリンターをするとき、プリンターの URL に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。

設定方法については、CentreWare Utilities の CD-ROM に入っているマニュアルを参照してください。

SOAP ポートや WebDAV ポートを利用するための設定は必要ありません。

メールの暗号化 / デジタル署名をする場合の設定

設置手順の概要

メールの暗号化 / デジタル署名をする場合は、次の手順で行います。

- 本体側の設定

本商品に証明書を設定します。証明書は、本体出荷時には、本商品にインポートされていません。

証明書を設定する方法は、次のとおりです。

- CentreWare Internet Services で証明書を設定する
HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから証明書を設定してください。

- コンピューター側の設定

メールの暗号化 / デジタル署名の目的に合わせて、証明書を準備します。

本体側の設定

ここでは、CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合の手順について説明します。

CentreWare Internet Services で証明書を設定する場合

CentreWare Internet Services で証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、作成済みの証明書を本商品にインポートして、S/MIME を有効にします。

HTTP の通信を暗号化する設定については、「HTTP の通信を暗号化する場合の設定」(P.100)を参照してください。

CentreWare Internet Services の使用方法については、「CentreWare Internet Services を使う」(P.57)を参照してください。

- 1 Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレス、またはインターネットアドレスを「https」から始まるアドレスで入力し、〈Enter〉キーを押します。
 - IP アドレスの入力例
https://192.168.1.1/
 - インターネットアドレスの入力例
https://xxx.yyyy.zz.vvv/
- 補足 • ポート番号を指定する場合は、インターネットアドレスのあとに「:」を付けて、続けてポート番号を入力してください。
- 3 [プロパティ] タブをクリックします。
- 4 [本体説明] の [本体メールアドレス] が入力されていることを確認します。
- 5 [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 6 [証明書管理] をクリックします。
- 7 証明書をインポートします。

注記 • 証明書をインポートするときに、[自デバイス] または [その他] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合、インポートはできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

- 1) [パスワード] を入力します。
- 2) [確認用パスワード] を入力します。
- 3) インポートするファイル名を直接入力するか、[参照] ボタンをクリックして表示される、ダイアログボックスでインポートするファイルを選択し、保存をクリックします。
- 4) [インポート] ボタンをクリックします。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されたら、機械管理者の UserID とパスワードを [ユーザー名] と [パスワード] に入力し、[OK] をクリックします。

補足 ・ 工場出荷時の設定は、ユーザー名は「11111」、パスワードは「x-admin」です。

- 8 Web ブラウザーの再読み込みを行います。
- 9 [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 10 証明書を設定します。
補足 ・ DocuCentre 450 I/350 I の場合は、この手順は不要です。
 - 1) [証明書管理] をクリックします。
 - 2) [カテゴリ] を [自デバイス]、[証明書の目的] を [SSL サーバー] を選択し、[一覧の表示] ボタンを押します。
 - 3) 設定する証明書の所有者にチェックを付けます。
 - 4) [証明書の表示] ボタンを押します。
 - 5) [証明書の選択] ボタンを押します。
 - 6) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。
- 11 Web ブラウザーの再読み込みを行います。
- 12 [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
- 13 [セキュリティー一般] をクリックします。
- 14 [S/MIME] の [有効] にチェックを付けます。
- 15 設定した値を、本商品の設定値として反映します。
 - 1) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。
 - 2) Web ブラウザーの右フレームが、本商品を再起動する表示に変わります。
 - 3) [再起動] をクリックします。本商品が再起動し、設定した値が反映されます。
- 16 S/MIME 関連の設定をします。
 - 1) Web ブラウザーの再読み込みを行います。
 - 2) [セキュリティー] の左側にある [+] をクリックし、フォルダー内にある項目を表示します。
 - 3) [S/MIME] をクリックし、次の項目を設定します。
 - ・ 非信頼メール受信禁止
信頼できないメールを受信するかしないかを設定します。
 - ・ メッセージダイジェスト
メッセージダイジェスト方式を、[SHA1]、[MD5] のどちらかに設定します。
 - ・ コンテンツ暗号
本文の暗号化方式を、[3DES]、[RC2-40]、[RC2-64]、[RC2-128] の中から選択します。

- デジタル署名メール

メールを送信するときに、常にデジタル署名をするかどうか、または送信するときに選択するかを設定できます。

- 証明書の自動保存

宛先表に登録されているメールアドレスから、S/MIME 用証明書が添付されたメールを受信したとき、自動的に証明書を保存するかどうかを設定します。

4) [新しい設定を適用] ボタンをクリックします。

コンピューター側の設定

コンピューター側の設定について説明します。

■本商品からコンピューターにスキャンデータを S/MIME 暗号メールで送信する場合

送信先となるメールアドレスの個人証明書を本商品に登録する必要があります。

なお、本商品に登録する個人証明書は、ルート証明書を含めた形式にしてください。

証明書の取り込みについては、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

■本商品からコンピューターに S/MIME デジタル署名メール送信する場合

送信先のコンピューターに、設定は必要ありません。

■コンピューターから本商品にメールプリントで S/MIME 暗号メールを送信する場合

本商品の S/MIME 用の証明書がコンピューターに必要です。

本商品の S/MIME 用の証明書をコンピューターに設定するためには、次の 2 つの方法があります。

- 本商品からコンピューターに S/MIME デジタル署名メールを送信する

[デジタル署名 - メール送信] の設定で、メール送信時にデジタル署名を付けるように設定すると、本商品からメールを送信するときに、S/MIME デジタル署名メールを送信することができます。

- CentreWare Internet Services を使って、コンピューターに S/MIME 用の証明書をエクスポートし、メールソフトの証明書ストアに登録します。

証明書のエクスポートについては、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

メールソフトへの証明書の登録方法については、使用しているメールソフトのマニュアルを参照してください。

■コンピューターから本商品に S/MIME デジタル署名メールを送信する場合

送信元となるメールアドレスの個人証明書、個人証明書の中間認証局証明書、ルート証明書を本商品に登録する必要があります。

証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のオンラインヘルプを参照してください。

13 トラブル対処

この章では、ネットワークに関連するトラブル対処方法、および注意・制限について説明しています。

- SMB.....106
- NetWare.....109
- TCP/IP.....113
- CentreWare Internet Services.....117
- スキャナー機能.....118
- メール機能.....119

SMB

SMB を使用したときのトラブル対処と注意制限事項について説明します。

トラブル対処

SMB 使用時に障害が発生した場合の、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

プリンターが見つからないとき

原因	確認方法	処置
コンピューターと本商品の動作プロトコルが違っている。	コンピューター上で、「他のコンピュータの検索」([スタート] > [検索] > [他のコンピュータ])で検索を実行した場合はプリンターを発見できるが、[ネットワークコンピュータ]を開いてプリンターを発見しようとした場合には発見できない。	本商品と各コンピューターの SMB の動作プロトコルを合わせる。
ネットワーク (サブネット) が違う。	コンピューター上で、「他のコンピュータの検索」([スタート] > [検索] > [他のコンピュータ])で検索を実行した場合はプリンターを発見できるが、[ネットワークコンピュータ]を開いてプリンターを発見しようとした場合には発見できない。	本商品とコンピューターが違うネットワークに存在する場合は、システム管理者に問い合わせる。
本商品に設定されたホスト名がすでに存在している。	「機能設定リスト」をプリントして、SMB のステータス情報に、「ホスト名の重複」が記載されていることを確認する。	CentreWare Internet Services を利用して、ホスト名を重複しない名前に変更するか、本商品の設定を初期設定に戻す。

プリントできないとき

原因	確認方法	処置
本商品がほかのコンピューターからのプリント要求を処理している。 ([受信バッファ]の設定が[スプールしない]に設定されているとき)	本商品がプリント処理中であることを確認する。(プリント待ちファイルを格納する領域がないことを示す、書き込みエラーダイアログが表示される)	本商品のプリント処理が終了後、プリント要求を行う、または本商品側の設定をスプールモードに切り替える。
本商品のコネクション数が最大数を超過している。	本商品が複数のコンピューターからの同時処理要求(プリント要求および状態問い合わせ要求など)を処理していることを確認する。(リモートコンピューターが使用できないことを示す、書き込みエラーダイアログが表示される)	しばらくしてから、再びプリント要求を行う。

[プリンタ] ウィンドウからドキュメントを削除できないとき

原因	確認方法	処置
[プリンタ] ウィンドウに表示されるすべてのプリントデータを削除しようとしている。 (本商品の管理者だけ可能)	[プリンタ] メニューから、プリントデータを削除しようとしていないかを確認する。 ([印刷ジョブのクリア] メニュー)	削除したいプリントデータを選択して、[プリンタ] ウィンドウの [ドキュメント] メニューからプリントデータを削除する。([印刷中止] メニュー)
プリントデータのオーナーが異なっている。	選択したプリントデータの [オーナー] または [所有者] に表示されている名前と、Windows にログインしているログイン名が一致しているかどうかを確認する。	プリントデータの [オーナー] に表示されている名前と、Windows にログインし直してから、プリントデータを削除する。
Service Pack 4.0 以上がインストールされていない。 (Windows NT 4.0 の場合)	Windows NT 4.0 起動時に表示される Service Pack のバージョンを確認する。	バージョンが 4.0 以上の Service Pack をインストールする。

注意制限

SMB の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本商品側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を [起動] に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に [停止] に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを [停止] にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量 [SMB (スプール)] のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量 [SMB (スプール)] のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているホストで、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本商品の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- [SMB (スプール)] の設定が [メモリー] のとき
プリント中のデータを含め、本商品のメモリーにスプールされたプリントデータは、すべて削除されます。再び電源を入れたときには、プリントデータはありません。
ただし、プリント指示の直後に電源を切った場合、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しく

プリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- [SMB (スプール)] の設定が [ハードディスク] のとき

プリント中のデータを含め、本商品のハードディスクにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

- [SMB (スプール)] の設定が [スプールしない] のとき

プリント中のデータを含め、本商品の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。

ただし、プリント指示の直後に電源を切った場合、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたとき、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

プリント時

- [SMB (スプール)] の設定が、[ハードディスク] または [メモリー] のとき

プリントデータの受信を開始したときに、プリントデータのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、そのプリントデータは受信できません。

補足 ・ プリントデータが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターが停止したように見えます。対処として、コンピューター側でそのプリントデータの送信を中止してください。

- [SMB (スプール)] の設定が [スプールしない] のとき

あるコンピューターからプリント要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからのプリント要求を受け付けできません。

- コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合

コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本商品側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本商品の受信バッファにプリントデータがない状態で、電源を切 / 入してください。

補足 ・ 本商品の受信バッファにあるプリントデータのプリント中止 / 強制排出は、本商品の操作パネルから操作できます。操作方法は、『ユーザーガイド』の「12 ジョブ確認」を参照してください。

- 本商品がオフライン状態のとき

本商品がオフライン状態のときに、コンピューターからプリントを指示すると、本商品ではデータ受信がされないで、コンピューター側には書き込みエラー発生のエラーダイアログボックスが表示されます。

- ジョブの削除

Windows NT 4.0 の場合、Service Pack 4 以上をインストールしているときは、ジョブを削除できます。データ受信中にジョブを削除すると、書き込みエラーが表示されます。この場合、エラーダイアログボックスに表示される [再試行] は無効です。

NetWare

NetWare 使用時に障害が発生した場合の、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

プリントされないとき

原 因	確認方法	処 置
ネットワーク構成機器（HUB など）が、フレームタイプの自動設定に適合していない。	本商品を接続したネットワーク構成機器のポートのデータリンクランプが、点灯しているか確認する。ネットワークに存在しているファイルサーバーのフレームタイプが、統一されているかを確認する。	接続するファイルサーバーに設定されているフレームタイプを本商品から設定する。
ワークステーションからプリンターまでのネットワーク上に障害が発生した。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリンターのオブジェクトが参照できるかを確認する。*	ワークステーションからプリンターまでに存在する、通信不能なネットワークケーブルを交換する。
プリントキューの [ユーザ] に、ジョブ送信者のユーザー名またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されていない。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象キューのオブジェクトを参照して [ユーザ] の情報にジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されているかを確認する。*	[プリントキュー情報] の [ユーザ] に、ジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されているプリントキューにプリントデータを再送信する。
		ワークステーションから NWADMIN を使って、[プリントキュー情報] の [ユーザ] に、ジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名を登録する。*
プリントキューへのジョブ送信が禁止されている。	PCONSOLE を使って、[プリントキュー情報] の [現キュー状況] で [ユーザはキューへ登録ができます] が [Yes] に設定されているかを確認する。	PCONSOLE を使って [Yes] に設定する。
	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリントキューの [識別] でオペレータフラグがチェックされているかを確認する。*	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリントキューの “識別” でオペレータフラグの各項目がチェックされているか確認する。*
プリントサーバーのプリントサーバーユーザーに、ジョブ送信者のユーザー名またはジョブ送信者が属するグループ名が定義されていない。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリントサーバーの [ユーザ] の情報にジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されているかを確認する。*	[プリントサーバ情報] の [ユーザ] に、ジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されているプリントキューに、プリントデータを再送信する。
		ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリントサーバーの [ユーザ] の情報にジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名を登録する。*

原因	確認方法	処置
プリントデータを送信したプリントキューが、プリンターに割り当てられていない。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリントキューの「割り当て」で、サービスしているプリンターのリストに対象とするプリンターが割り当てられているかを確認する。*	プリンターに割り当てられているプリントキューに、プリントデータを再送信する。* ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリンターの「割り当て」の追加で対象とするキューを追加する。*
プリントデータのデータ形式と、ワークステーションのプリント環境の設定が一致していない。	—	ワークステーション側で Windows を使っている場合は、Ctrl-D を出力しない設定にする。
プリンターの最大サポートキュー数を超過してプリントキューが設定されている。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリンターの「割り当て」のプリントキューリストに、希望のプリントキューが割り当てられているかを確認する。*	プリンターに割り当てられているプリントキューに、プリントデータを再送信する。*
スレーブファイルサーバーが設定されていない（バインダリサービスモード）。	ワークステーションから PCONSOLE を使って、[プリントサーバ情報] の該当するプリントサーバーで、[サービス NetWare サーバ] にスレーブファイルサーバーが登録されているかを確認する。*	ワークステーションから PCONSOLE を使ってスレーブファイルサーバーを登録したあと、設定パラメーターを反映する。
スレーブファイルサーバーの設定が異なっている（バインダリサービスモード）。	ワークステーションから PCONSOLE を使って、[プリントサーバ情報] > [プリンタ] > [プリンタ xxx の環境設定] で、プリンタタイプが「他で定義済み」となっているかを確認する。*	[他で定義済み] でない場合は [他で定義済み] に変更したあと、設定パラメーターを反映する。*
プリントデータの用紙番号とプリンターに設定されている用紙番号が異なっている。	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリンターを選択したあと、環境設定の開始用紙番号がプリントデータの番号と同じかを確認する。*	ワークステーションから NWADMIN を使って、対象プリンターの環境設定で、[開始用紙] の番号をプリントデータの番号と一致させる。*
IPX チェックサムのレベル設定が異なっている。	ファイルサーバーのコンソール画面上で set コマンドを使って、IPX チェックサムがレベル 2 に設定されていないかを確認する。	ファイルサーバーのコンソール画面上で次のコマンドを入力して、IPX チェックサムをレベル 0 またはレベル 1 に設定する。 set Enable IPX Checksum=x(x:0 または 1)
NCP パケットシグネチャのレベル設定が異なっている。	ファイルサーバーのコンソール画面上で set コマンドを使って、NCP パケットシグネチャがレベル 3 に設定されていないかを確認する。	ファイルサーバーのコンソール画面上で次のコマンドを入力して、NCP パケットシグネチャをレベル 0、1、2 のどれかに設定したあと、ファイルサーバーを再起動する。set NCP Packet Signature Option=x (x:0、1、2 のどれか)

原因	確認方法	処置
初期値で設定されている装置名が誤っている。	「機能設定リスト」をプリントして、Ethernet アドレスの下位 6 桁 (3 バイト) を確認する。	正しい Ethernet アドレスを使って、装置名を設定する。 装置名を初期値以外に設定する。
ディレクトリーツリー名がセットされていない。	「機能設定リスト」をプリントして、ツリー名が設定されているかを確認する。	ツリー名を設定する。
コンテキストがセットされていない。	「機能設定リスト」をプリントして、コンテキストが設定されているかを確認する。	コンテキストを設定する。
別のプリンターオブジェクトに接続した。	ワークステーションから NWADMIN を使って、希望のプリントサーバーのレイアウト情報で、正しくオブジェクトが割り当ててあるかを確認する。*	ワークステーションから CentreWare Utilities の CD-ROM を使って、ファイルサーバー名 / ツリー / コンテキスト / 動作モードを正しく設定する。 ワークステーションから CentreWare Internet Services を使って、ファイルサーバー名 / ツリー / コンテキスト / 動作モードを正しく設定する。
NetWare ポートが起動に設定されていない。	「機能設定リスト」をプリントして、NetWare ポートが起動になっているかを確認する。	NetWare ポートを起動する。
ファイルサーバーがダウンしている。	[ネットワークコンピュータ] で、対象とするファイルサーバーを検索する。	ファイルサーバーを起動する。
ネットワーク上に同一の装置名を持ったプリンターが存在する。	本商品の電源を切り、ワークステーションから NWADMIN を使って、該当するプリンターオブジェクトのステータスが、ジョブ待機中となっていることを確認する。	ワークステーションから CentreWare Utilities の CD-ROM を使って、別の装置名に設定する。
NetWare ポートが起動していない。	「機能設定リスト」をプリントして、IPX/SPX 使用時、ネットワーク番号が「0000000」のまま (NetWare サーバーダウン) かどうかを確認する。また、TCP/IP 使用時に IP アドレスが「0.0.0.0」のまま (固定 IP アドレス未設定、またはアドレス提供サーバー (DHCP) がダウン) かどうかを確認する。	IPX/SPX の場合、NetWare サーバーを起動する。TCP/IP の場合、固定 IP アドレスをセットするか、アドレス提供サーバー (DHCP) を起動する。

*：設定方法や確認方法については、「NetWare Online Documentation」を参照してください。

【電源を一度切ってください】と表示されているとき

原因	確認方法	処置
NetWare で障害が発生した。	—	本商品の電源を入れ直す。 ディスプレイが暗くなってから再度電源を入れる。

希望どおりにプリントされないとき

原 因	確認方法	処 置
プリントデータのプリント言語と本商品側で設定されているプリント言語が異なっている。	本商品のプリント言語を確認する。	プリントデータのプリント言語と本商品のプリント言語の設定を合わせる。

通知されないとき

プリントを指示したワークステーション上にメッセージが通知されない場合の、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

プリンター障害発生が通知されないとき

原 因	確認方法	処 置
プリントサーバーの通知者リストに登録されていない。	ワークステーションから PCONSOLE を使って、[プリントサーバ情報] > [プリンタ] > [プリンタ xxx の環境設定] > [通知] に、ジョブ送信者のユーザー名、またはジョブ送信者が属するグループ名が登録されているかを確認する。	[通知] にジョブ送信者のユーザー名、またはユーザーが属するグループ名を登録する。

ジョブ完了が通知されないとき

原 因	確認方法	処 置
ワークステーションからプリントデータを送信するときに、NOTIFY オプションが設定されていない。	プリントデータを送信するときに、NOTIFY オプションが設定されているかどうかを確認する。	プリントデータを送信するときに、NOTIFY オプションを設定する。
ユーザーのワークステーション上で、NetWare CASTOFF が実行された。	—	ユーザーのワークステーション上で、NetWare CASTON を実行する。

TCP/IP

TCP/IP を使用したときのトラブル対処と注意制限事項について説明します。

トラブル対処

TCP/IP (LPD) 使用時に障害が発生した場合の、考えられる原因、確認方法、処置は次のとおりです。

Windows 95、Windows 98、Windows Me の場合

原因	状態表示 / 確認方法 / 処置	
本商品がコンピューターと異なるネットワークに接続されている。	状態表示	【印刷不可状態 (Network Error)】
	確認方法	ネットワークのシステム管理者に、コンピューターが接続されているネットワークと本商品が接続されているネットワークの間に、ルーターやゲートウェイが介在しているかどうかを確認する。
	処置	コンピューターが接続されているネットワークに、本商品を直接接続する。
コンピューターから本商品までのネットワーク上に障害が発生して、コネクションが確立できない。	状態表示	【印刷不可状態 (Network Error)】
	確認方法	なし。
	処置	ネットワークのシステム管理者に、ネットワーク障害について調べてもらう。
コンピューターからプリントを指示したあとに、本商品の電源が切れた。または、本商品の電源が入っていないままコンピューターからプリントを指示した。	状態表示	【印刷不可状態 (Network Error)】
	確認方法	本商品の電源が入っているかどうかを調べる。
	処置	本商品の電源を入れる。
本商品に対して、多数のコンピューターから同時にプリントを指示している。	状態表示	【印刷不可状態 (Network Error)】
	確認方法	なし。
	処置	なし（自動的にプリントが再開されます）。
コンピューターのディスク容量が不足しているため、プリントするファイルをスプールできない。	状態表示	【印刷不可状態 (Spool Error)】
	確認方法	【マイコンピュータ】を開き、システムがインストールされているディスク（例：Cドライブ）を右クリックする。表示されたメニューから【プロパティ】タブを選択し、空き領域を確認する。
	処置	不要なファイルを削除して、ディスクの空き領域を確保する。次に、【プリンタ】ウィンドウの【ドキュメント】メニューの【一時停止】を選択し、停止状態を解除する（プリントが再開されます）。

Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 の場合

■プリントされないとき

原因	確認方法	処置
正しいIPアドレスが設定されていない。	ネットワーク管理者に、本商品のIPアドレスが正しいかどうかを調べてもらう。	本商品に、正しいIPアドレスを設定する。
LPD スプールをメモリースプールに設定している場合に、コンピューターから1回のプリント指示で送信されるプリントデータの容量が、受信容量の上限を超えている。	LPD スプールのメモリー容量を確認して、1回のプリント指示で送信しようとしているプリントデータの容量と比較してみる。	プリントデータ容量が1つのファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、そのファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割してプリントを指示する。 プリントデータ容量が複数のファイルで、メモリー容量の上限を超える場合は、1度にプリントを指示するファイル数を減らす。
プリント処理中に対処不可能な障害が発生した。	操作パネルのディスプレイで、エラーが表示されていないかを確認する。	電源スイッチを入れ直す。ディスプレイが暗くなってから再度電源を入れる。
コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択していない。	選択されているトランスポートプロトコルを確認する。	コンピューターと一致するトランスポートプロトコルを選択する。
本商品が処理しようとするプリントデータのデータ形式と、コンピューターから送られてくるプリントデータのデータ形式が一致していない。	—	Ctrl-Dを出力しない設定にする。

■希望どおりにプリントされないとき

原因	確認方法	処置
指定したプリント言語とプリントデータのプリント言語が異なっている。	指定したプリント言語とプリントデータのプリント言語を確認する。	プリントデータのプリント言語に一致するプリント言語を指定する。
本商品に付属のプリンタードライバを使っていない（他社のプリンタードライバを使っている）。	本商品に付属のプリンタードライバが選択されているか確認する。	本商品に付属のプリンタードライバを選択する。選択項目にない場合は、本商品に付属のプリンタードライバをインストールし、選択する。他社のプリンタードライバを使った場合は、動作が保証されません。

注意制限

TCP/IP (LPD) での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本商品側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ポート状態を [起動] に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に [停止] に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを [停止] にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
- 使用環境に応じて、受信バッファ容量 [lpd (スプール)] のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量 [lpd (スプール)] のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定

- IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているホストで、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本商品の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- [lpd (スプール)] の設定が [メモリー] のとき
プリント中のデータを含め、本商品のメモリーにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。
ただし、プリント指示の直後に電源を切った場合、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。
- [lpd (スプール)] の設定が [ハードディスク] のとき
プリント中のデータを含め、本商品のハードディスクにスプールされたプリントデータはすべて保存されます。再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。
- [lpd (スプール)] の設定が [スプールしない] のとき
プリント中のデータを含め、本商品の受信バッファにスプールされたプリントデータはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、プリントデータはありません。
ただし、プリント指示の直後に電源を切った場合、プリントデータがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときに、新しくプリント指示が行われても、保存されているプリントデータから順にプリントされます。

プリント時

- [lpd (スプール)] の設定が、[ハードディスク] または [メモリー] のとき
プリントデータの受信を開始したときに、プリントデータのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、そのプリントデータは受信できません。

補足 ・ プリントデータが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターが停止したように見えます。対処として、コンピューター側でそのプリントデータの送信を中止してください。

- [lpd (スプール)] の設定が [スプールしない] のとき
あるコンピューターからプリント要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからのプリント要求の受け付けができません。

- コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合
コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本商品側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本商品の受信バッファにプリントデータがない状態で、電源を切 / 入してください。

補足 ・ 本商品の受信バッファにあるプリントデータのプリント中止 / 強制排出は、本商品の操作パネルから操作できます。操作方法は、『ユーザーズガイド』の「12 ジョブ確認」を参照してください。

CentreWare Internet Services

トラブル対処

「CentreWare Internet Services」使用時に障害が発生した場合の症状と処置は、次のとおりです。

症状	処置
「CentreWare Internet Services」に接続できない。	本商品は、正常に作動していますか？ 本商品の電源が入っているかを確認してください。
	「インターネットサービス」が起動していますか？ 「機能設定リスト」をプリントして確認してください。
	インターネットアドレスは正しく入力されていますか？ インターネットアドレスをもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	プロキシサーバーを使っていますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。プロキシサーバーを使わないで、Web ブラウザーの設定を「プロキシサーバーを使用しない」にするか、使用するアドレスを「プロキシサーバーを使用しない」に設定してください。
【しばらくお待ちください】と表示されたままになる。	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、[更新] ボタンを押してください。 [更新] ボタンを押しても状態が変わらない場合は、本商品が正常に作動しているかを確認してください。
[更新] ボタンが機能しない。	指定されている Web ブラウザーを使っていますか？
左側フレームのメニューを選択しても、右側フレームが更新できない。	「CentreWare Internet Services での通信（ポート / プロトコル）設定項目」（P.61）を参照して、使っている Web ブラウザーが対象となっているかどうかを確認してください。
画面の表示が崩れる。	Web ブラウザーのウィンドウサイズを変更してください。
最新の情報が表示されない。	[更新] ボタンを押してください。
日本語が正しく設定できない。	シフト JIS コードを使ってください。また、半角カナ文字は使用しないでください。
[新しい設定を適用する] ボタンを押しても反映されない。	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、自動的に制限値内に変更されます。
	本商品の操作パネルで操作中、または操作後ではありませんか？ 自動リセット機能が設定されている場合、設定時間が経過するまで、CentreWare Internet Services での設定は適用されません。しばらくお待ちください。
[新しい設定を適用する] ボタンを押すと、Web ブラウザーに【無効なまたは認識されない応答をサーバーが返しました】や【データがありません】などのメッセージが表示される。	パスワードは正しいですか？ パスワードの確認入力の内容が一致していません。正しいパスワードを入力してください。
	本商品を再起動してください。
漢字を入力できない。	「*」で表示される項目に漢字は入力できません。
ジョブを削除できない。	しばらく待ってから [更新] ボタンを押してください。

スキャナー機能

注意制限

スキャン機能使用時の注意 / 制限事項は、次のとおりです。

ネットワークスキャナードライバー、および親展ボックスビューワー 2 の注意 / 制限事項については、同梱されている CentreWare Utilities の CD-ROM に入っている「Readme」を参照してください。

親展ボックスからの文書取り出し時

- ・ [文書取り出し後の削除] が [削除しない] に設定されている場合は、同一の文書に複数のクライアントがアクセスできます。
 - ・ [文書取り出し後の削除] が [削除する] に設定されている場合は、同一の文書にアクセスできるクライアントは 1 台だけです。あるクライアントが、蓄積、または読み込みをしている文書は、ほかのクライアントからは見えません。
- また、どちらの場合でもアクセス中の親展ボックスに対して、文書の追加はできます。
- ・ CentreWare Internet Services によって取り出した場合は、[文書取り出し後の削除] の設定にかかわらず、文書は削除されません。

ネットワークスキャナードライバーと親展ボックスビューワー 2 の同時使用

1 台のコンピューターから、ネットワークスキャナードライバーと親展ボックスビューワー 2 を同時に使用して、本商品に接続することはできません。

複数のコンピューターで、ネットワークスキャナードライバーまたは親展ボックスビューワー 2 を使用して、同時に同じ機械から文書を取り出す場合は、最大で 3 台までです。

ほかのファクスからの親展ポーリング時

ほかのファクスから、本商品に親展ポーリングを指示された場合、スキャン文書は送信されません。

TIFF ファイル使用時

CentreWare スキャンサービス、または親展ボックスビューワー 2 を使用して作成された TIFF ファイルは、MMR、MH、JBIG、または JPEG 圧縮方式で圧縮されています。TIFF ファイルを開く場合は、これらの圧縮方式に対応したアプリケーションソフトウェアを使用してください。

補足 ・ 親展ボックスビューワー 2 では、JBIG で圧縮された TIFF ファイルは作成できません。

読み込み容量の制限について

1 ページの最大読み込み容量は、297 × 432mm です。定形サイズでは、A3 または 11 × 17 インチです。

読み込める原稿の枚数 (親展ボックス方式)

親展ボックス方式で、1 回の読み取り操作で読み込める原稿の枚数は、999 ページです。読み込める原稿の枚数は、原稿のサイズや解像度によって変化します。

メール機能

トラブル対処

メール通知サービス、メールプリント、iFax、スキャナー（メール送信）を使用している場合のトラブルについて、処置方法を記載しています。

症状	処置
メール受信ができない (メールプリント)	本体メールアドレスは設定されていますか？
	[メール受信] が [起動] に設定されていますか？
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか？
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか？
	[受信ドメインの制限] を設定していませんか？ CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか？ ネットワーク管理者に確認してください。
メール送信ができない (メール通知)	本体メールアドレスは設定されていますか？
	[メール通知サービス] が [起動] に設定されていますか？ (メール通知の場合)
	[メール送信] が [起動] に設定されていますか？
	SMTP サーバーの IP アドレスなどが、正しく設定されていますか？
	送信する通知項目が正しく設定されていますか？（メール通知の場合） CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか？
	SMTP サーバーは正常に作動していますか？ ネットワーク管理者に確認してください。

索引

記号・英数

100BASE-TX	44
10BASE-T	44
10BASE-T/100BASE-TX コネクター	14
Adobe 通信プロトコル	63
CentreWare EasyAdmin	20
CentreWare Internet Services	18, 20, 58
CentreWare Utilities	20
C (クリア) ボタン	26
DNS	68
DNS 使用	72
DNS の動的更新	77
Ethernet	62
Ethernet II	44
EXT.LINE	14
FTP	96
FTP クライアントポート	97
HANDSET	14
HTTP	58, 78
HTTPS	100
HTTP ポート	78
IEEE802.3	44
IPP	54, 72
IPP ポート	54
IP アドレスマスク	69
IP アドレスの設定	20
Ethernet インターフェイスでの接続	24
JCL	33, 37
LDAP ポート	74
LINE 1	14
LINE 2/ISDN 1	14
LINE 3/ISDN 2	14
LPD	40, 70
LPD ポート	40, 45
Microsoft Networks	50
NDS	66
NetWare ポート	45
POP3	86
POP3 サーバー	86
Port9100	40, 73
Port9100 ポート	40
S/MIME	88

Salutation	91
SLP	67
SMB	50, 65, 96
SMB ポート	50, 97
SMTP	86
SMTP サーバー	86, 87
SMTP ポート番号	77
SNMP	71
TCP/IP	40, 68
TEL	14
Unicode サポート	65
USB	36, 64
USB1.1 インターフェイスコネクター	14
USB インターフェイスでの接続	23
USB ポート	36
WebDAV	91
WebDAV ポート	79
Web ブラウザー	58
Windows 2000	17
Windows 95	17
Windows 98	17
Windows Me	17
Windows NT 4.0	17
Windows Server 2003	17
Windows XP	17
WINS	69

ア

アウトラインフォント	30
アクセス制限	93
アドレス帳	20
インターネット印刷	54
インターネットサービス (HTTP) ポート	58
インプットプライム	33
受付 IP アドレス	69
エラー通知メールの印刷	77

カ

各部の名称と働き	12
機械確認 (メーター確認) ボタン	25
輝度調整ダイヤル	25
キュー探索間隔	66

原稿ガラス	13
原稿読み取りガラス	13
検索回数	66
検索ドメイン名	77
コミュニティ名登録	71

サ

最大セッション数	65, 78
サイドトレイ	12
サポートするインターフェイス	44
サポートするフレームタイプ	44
システム担当者	71
自動排出時間	33, 37, 63, 64
自動マスターモード	65
自動両面原稿送り装置	12
受信ドメインの制限	87
受信プロトコル	86
ジョブ確認（通信中止）ボタン	25
ジョブの終了通知	82
ジョブの状態の確認	21
ジョブフローの関連付け	93, 95
親展ボックスの登録	20, 93
数字ボタン	26
スキャナー（PC 保存）	90
スキャナー（ボックス保存）	90
スキャン	18
スタートボタン	26
ストップボタン	26
設定確認ボタン	25
節電中 / 解除ボタン	25
センタートレイ	12
操作パネル	12, 20
送受信ランプ	25
装置名	66
双方向通信	33, 63

タ

タイムアウト	70, 72, 73, 77, 78
タッチパネルディスプレイ	25
短縮ボタン	26
蓄積文書ありランプ	25
追加ポート番号	72
通知言語	66
デジタル署名	102
電源スイッチ	12

動作モード	66
登録ボタン	26
トナーカートリッジ	13
ドメイン名	85
ドラムカートリッジ	13
トランスポートプロトコル	67

ナ

認証情報	21
認証（仕様設定 / 登録）ボタン	25
ネットワーク環境	16, 17
ネットワークプリンター	16

ハ

パスワード暗号化	65
パラレル	63
パラレルインターフェイス	32
パラレルインターフェイスコネクタ	14
パラレルインターフェイスでの接続	23
パラレルポート	32
ファイルサーバー名	66
プリンターの状態の確認	20
プリント	16
プリントモード指定	33, 36
フロントカバー	12
文書取り出し後の削除	93, 95
ポーズ（-）ボタン	26
ポートの起動	20
ポート番号	78
保管期間経過文書の削除	93
ホスト名	65, 85
保存期間経過文書の削除	95
ボックス名称	93

マ

メール	19, 75, 82
メールアドレス	85
メール環境の設定	20
メール通知	82
メールの暗号化	102
メニューボタン	26

ヤ

用紙トレイ 1.....	12
用紙トレイ 2.....	12
用紙トレイ 3.....	12
用紙トレイ 4.....	12
用紙トレイ 5.....	12

ラ

リセットボタン	14, 25
両面原稿送り装置	12
ローカルプリンター	16

ワ

ワークグループ名	65
割り込みボタン / ランプ	26
ワンタッチパネル	26
ワンタッチボタン	26

各種お問い合わせ先のご案内

● 保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリアでご利用のお客様

(新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以东の各都道県)

お問い合わせ先： 0120-970413

■ NTT 西日本エリアでご利用のお客様

(富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県)

お問い合わせ先： 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。